

資料編

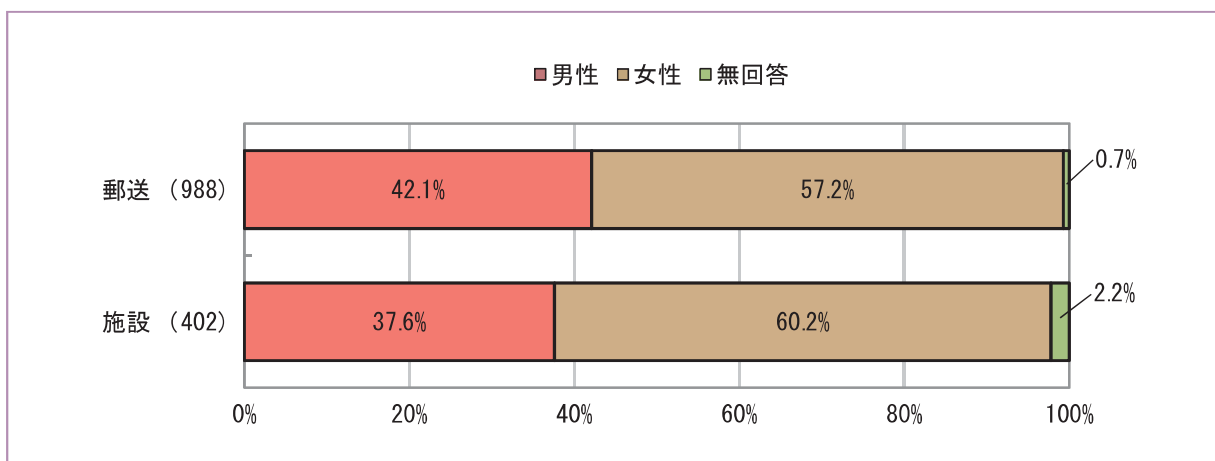
1 スポーツに関する意識調査結果(抜粋)

- ・集計(グラフや数表)は百分率で表示しており、小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者を絞った設問では、設問該当者を100%としている。
- ・複数回答ができる設問については、回答者比率の合計が100%を超える場合がある。
- ・集計結果のグラフの項目については、グラフの見易さを優先し、一部を省略している場合がある。
- ・図・表中のnとは、設問や選択肢に対する回答者数を表している。

1 回答者の属性

1) 性別

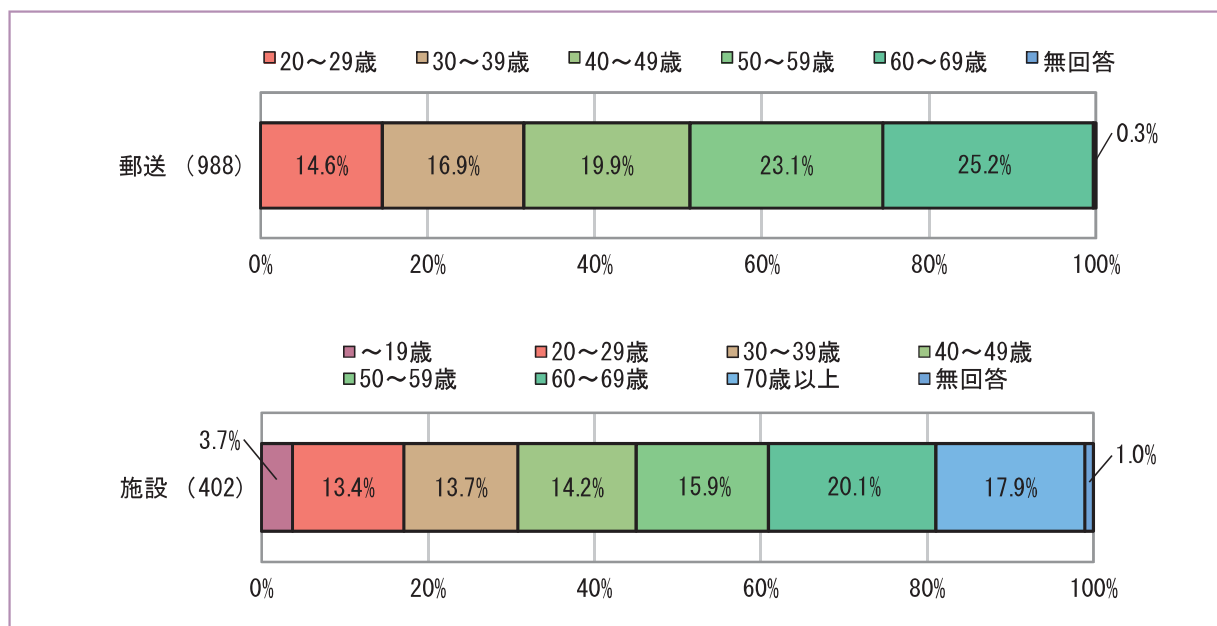
問1 性別を教えてください。(○は1つ)



郵送分では「男性」が42.1%、「女性」が57.2%で、施設利用者では「男性」が37.6%、「女性」が60.2%となっている。

2) 年齢

問2 年代を教えてください。(○は1つ)

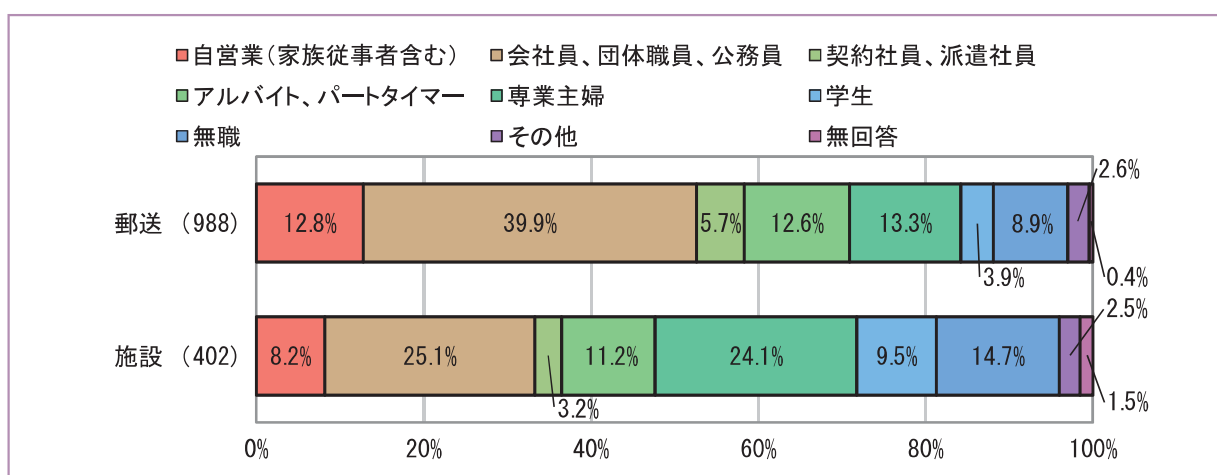


郵送分では「60～69歳代」が25.2%ともっとも多く、次いで「50～59歳代」(23.1%)、「40～49歳代」(19.9%)と続いている。

施設利用者では「60～69歳代」が20.1%ともっとも多く、次いで「70歳以上」(17.9%)、「50～59歳」(15.9%)と続いている。

3) 職業

問3 ご職業は何ですか。(○は1つ)



郵送分では「会社員、団体職員、公務員」が39.9%ともっとも多く、次いで「専業主婦」(13.3%)、「自営業(家族従事者含む)」(12.8%)と続いている。

施設利用者では「会社員、団体職員、公務員」が25.1%ともっとも多く、次いで「専業主婦」(24.1%)、「無職」(14.7%)と続いている。

4) 居住地

問4 お住まい(町名)はどこですか。(○は1つ)

※地域別分析については、豊島区未来戦略推進プラン2012に準じた地域割りにて地域別分析を行った。なお、町名までの回答であったため、中部地域、南部地域については、両地域を合わせて集計を行った。

地区名	町名	郵送分	施設利用者
東部地区	駒込	5.9%	1.7%
	巣鴨	7.4%	5.2%
	西巣鴨	6.2%	4.5%
	北大塚	4.1%	3.0%
	南大塚	5.9%	6.7%
北部地区	上池袋	5.8%	5.7%
	池袋本町	7.1%	5.2%
中央地区・南部地区	東池袋	5.4%	3.2%
	南池袋	2.6%	2.0%
	西池袋	5.3%	1.7%
	池袋	3.9%	4.0%
	雑司が谷	3.9%	3.0%
	高田	4.7%	2.0%
	目白	5.1%	3.7%
西部地区	南長崎	6.1%	2.2%
	長崎	7.5%	1.7%
	千早	4.5%	3.7%
	要町	3.0%	3.2%
	高松	3.2%	1.7%
	千川	2.1%	1.0%
-	豊島区以外	-	33.3%
-	無回答	0.4%	1.2%

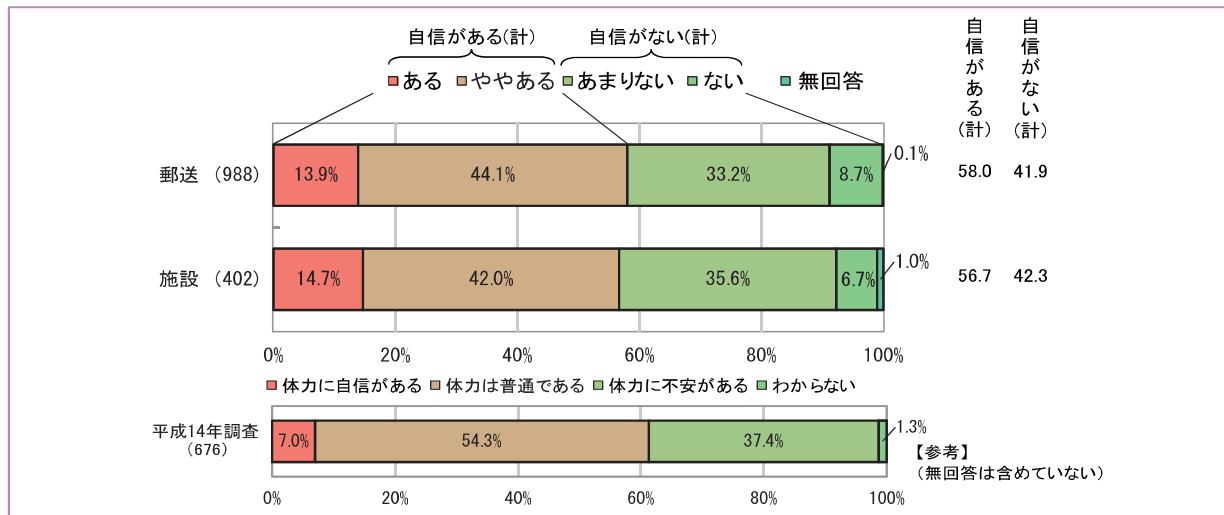
郵送分では「長崎」が7.5%と最も多く、次いで「巣鴨」(7.4%)、「池袋本町」(7.1%)と続いている。

施設利用者では「豊島区以外」が33.3%と最も多く、次いで「南大塚」(6.7%)、「上池袋」(5.7%)と続いている。

2 個人の体力、日ごろの運動・スポーツについて

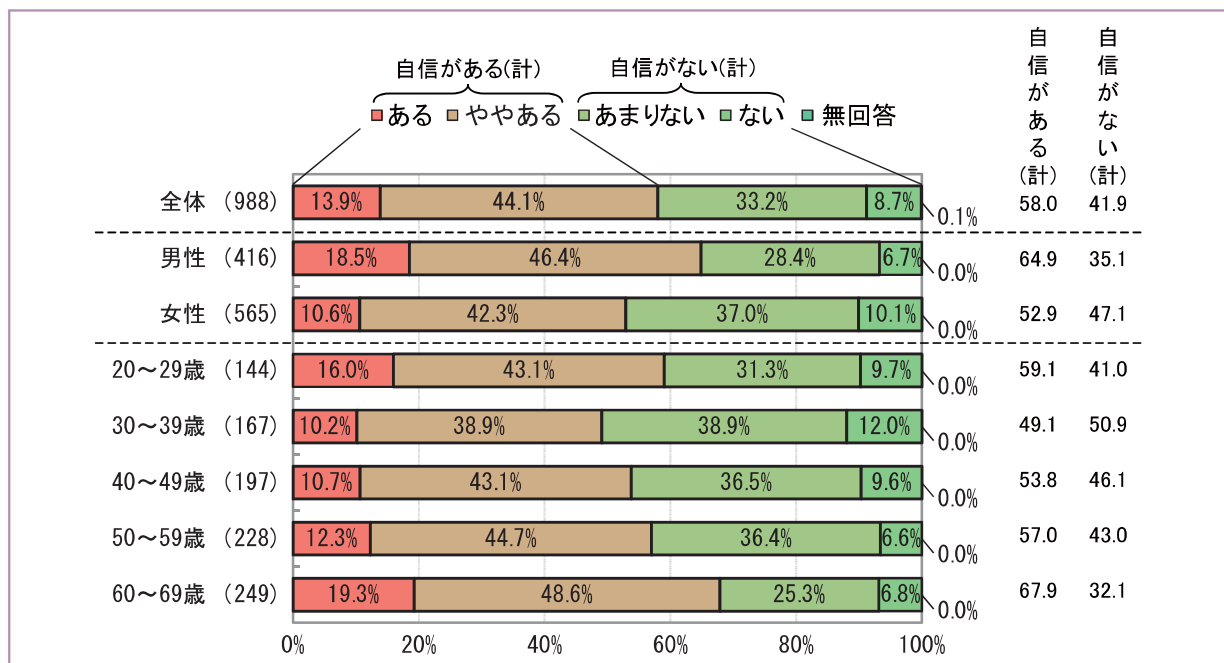
1) 体力への自信の有無

問5 体力に自信がありますか。(○は1つ)



体力への自信の有無については、郵送分、施設利用者とも「ある」「ややある」を合わせると6割近くが『自信がある(計)』と回答している。平成14年調査時と比較すると、「体力に自信がある」と回答している割合が高くなっている。

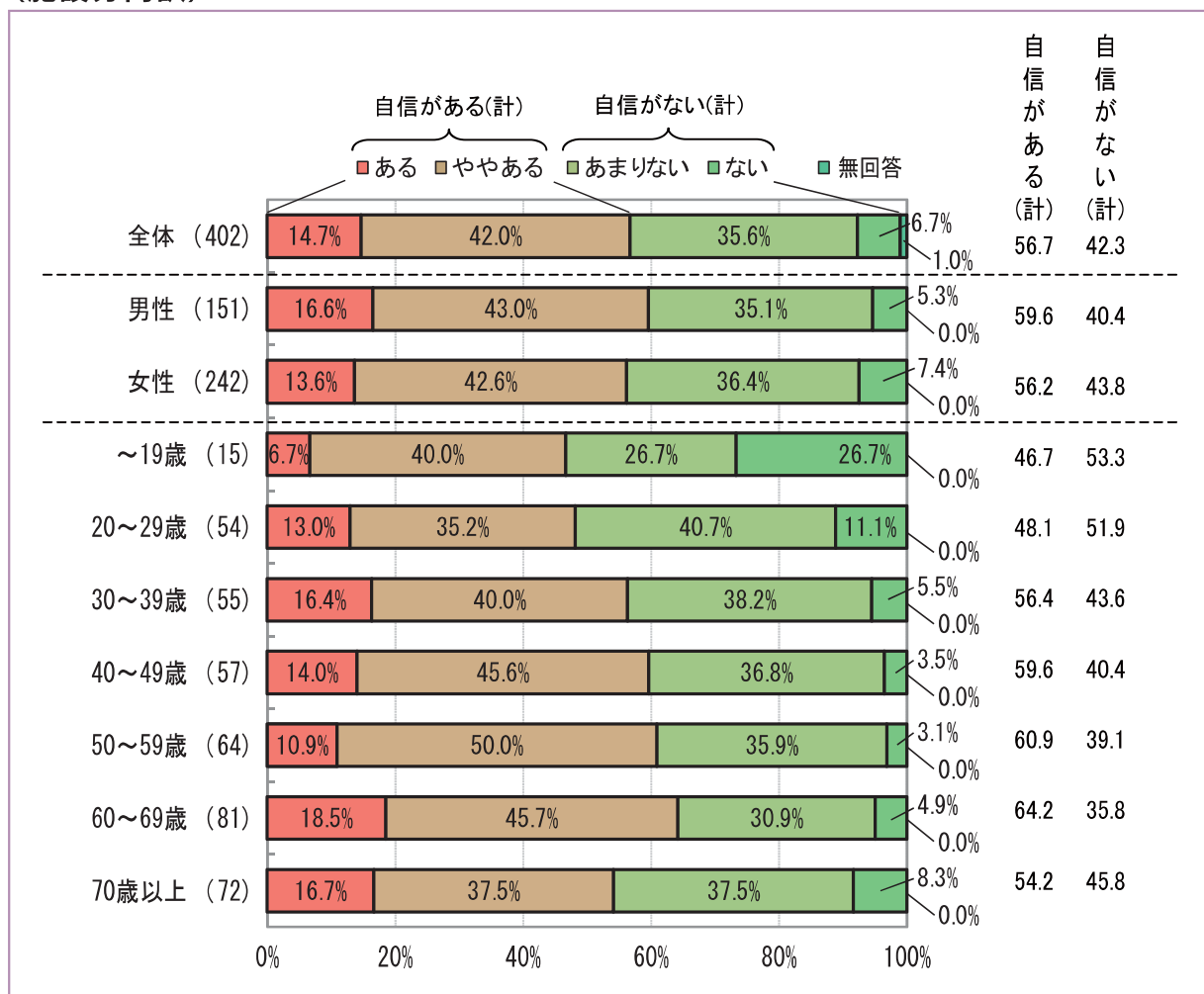
(郵送分内訳)



郵送分について性別でみると、「ある」は男性（18.5%）が女性（10.6%）よりも7.9ポイント高くなっており、『自信がある(計)』においても、12.0ポイント高くなっている。

年齢別でみると、30～39歳では「ある」が10.2%と他の年齢と比較してもっとも低くなっている。一方、50～59歳や60～69歳と年齢が高くなると、「ある」という割合も高くなっている。

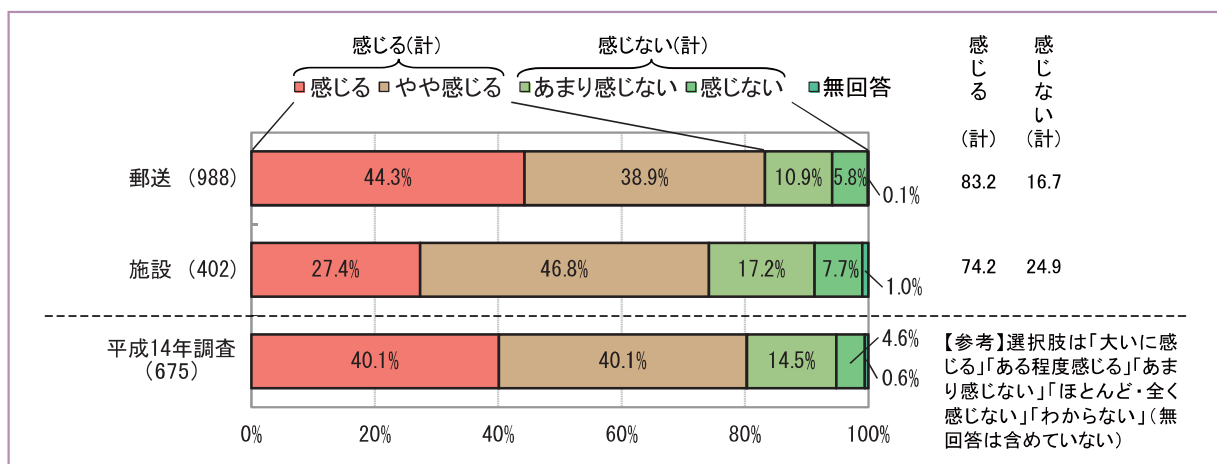
(施設分内訳)



施設利用者について年齢別でみると、19歳以下では「ある」が6.7%と他の年齢と比較しもっとも低くなっている。一方、郵送分と同様に50～59歳や60～69歳と年齢が高くなると、「ある」という割合も高くなっている。

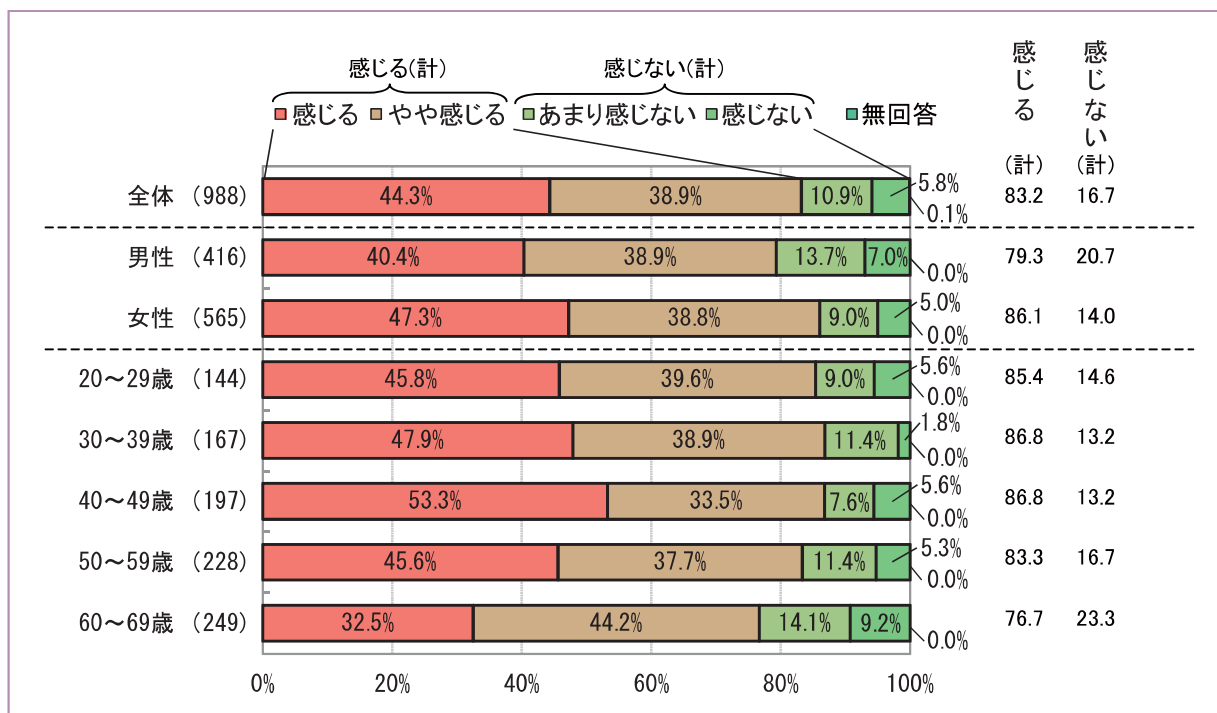
2) 運動不足の感覚

問6 日ごろ、運動不足を感じていますか。(○は1つ)



運動不足の感覚について、郵送分では運動不足を『感じる(計)』の割合が8割を超えており、普段から運動をしていると思われる施設利用者でも7割を超えている。平成14年調査時と比較すると、若干「感じる」との割合が高くなっている。

(郵送分内訳)

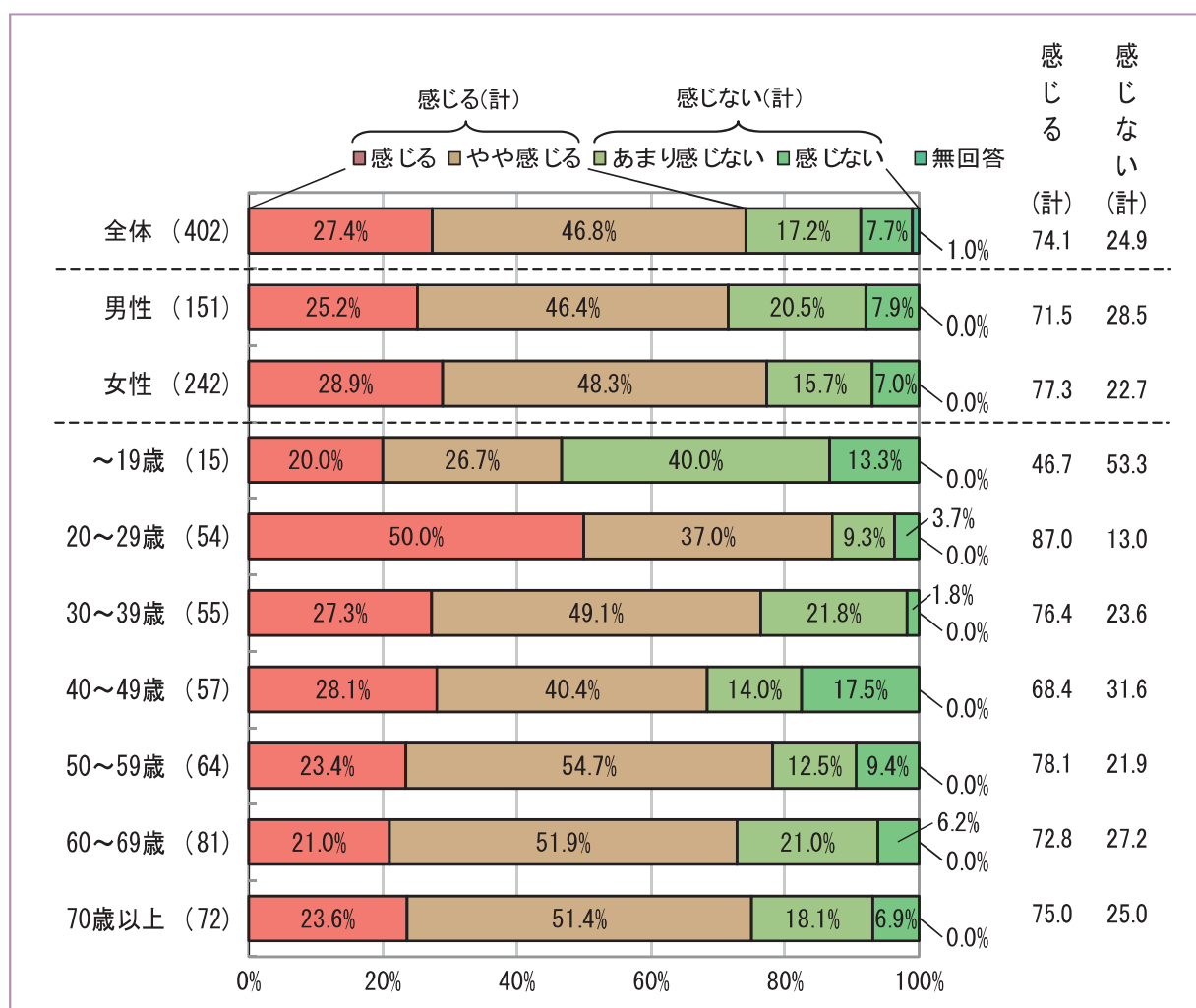


郵送分について性別でみると、女性（47.3%）が男性（40.4%）よりも「感じる」と回答した割合が6.9ポイント高くなっている。

年齢別でみると、30～39歳、40～49歳で『感じる(計)』が86.6%ともっとも高く、60～69歳を除いては8割以上が運動不足を感じている。「感じる」だけでみると、40～49歳がピークとなっており、50歳代、60歳代で低くなっている。

居住地区別でみても、大きな傾向の違いはみられない。

(施設分内訳)

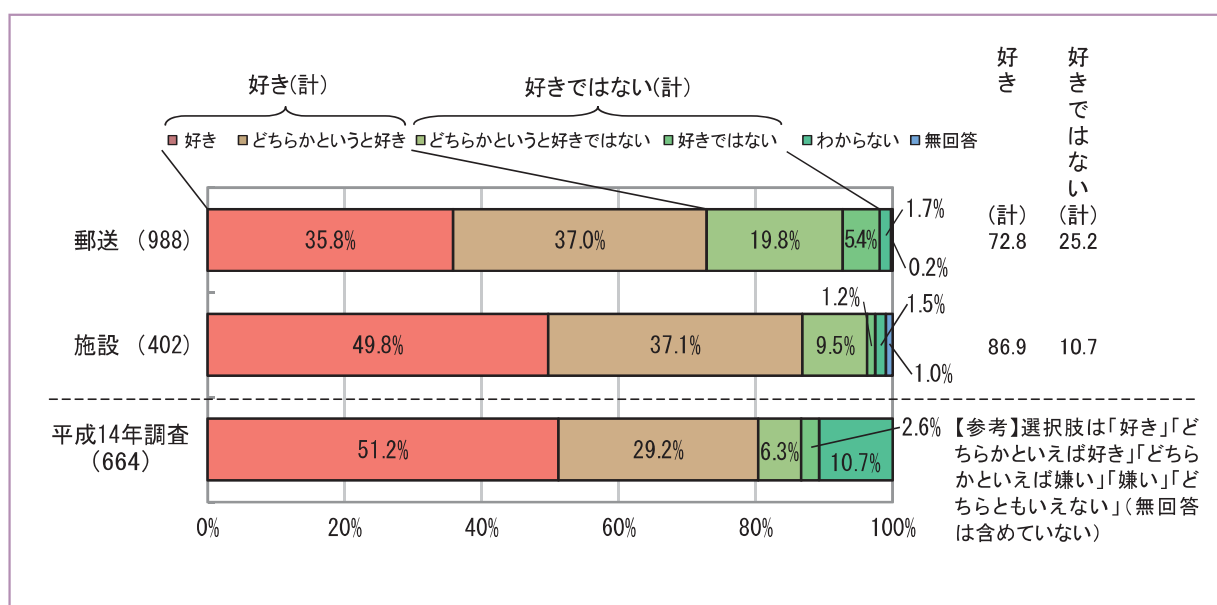


施設利用者について年齢別でみると、20～29歳で『感じる(計)』が87.0%と最も高くなっている。

郵送分と比較すると、全体的に『感じる(計)』の割合が低く、『感じない(計)』の割合が高くなっている。

3) 体を動かすことへの好み

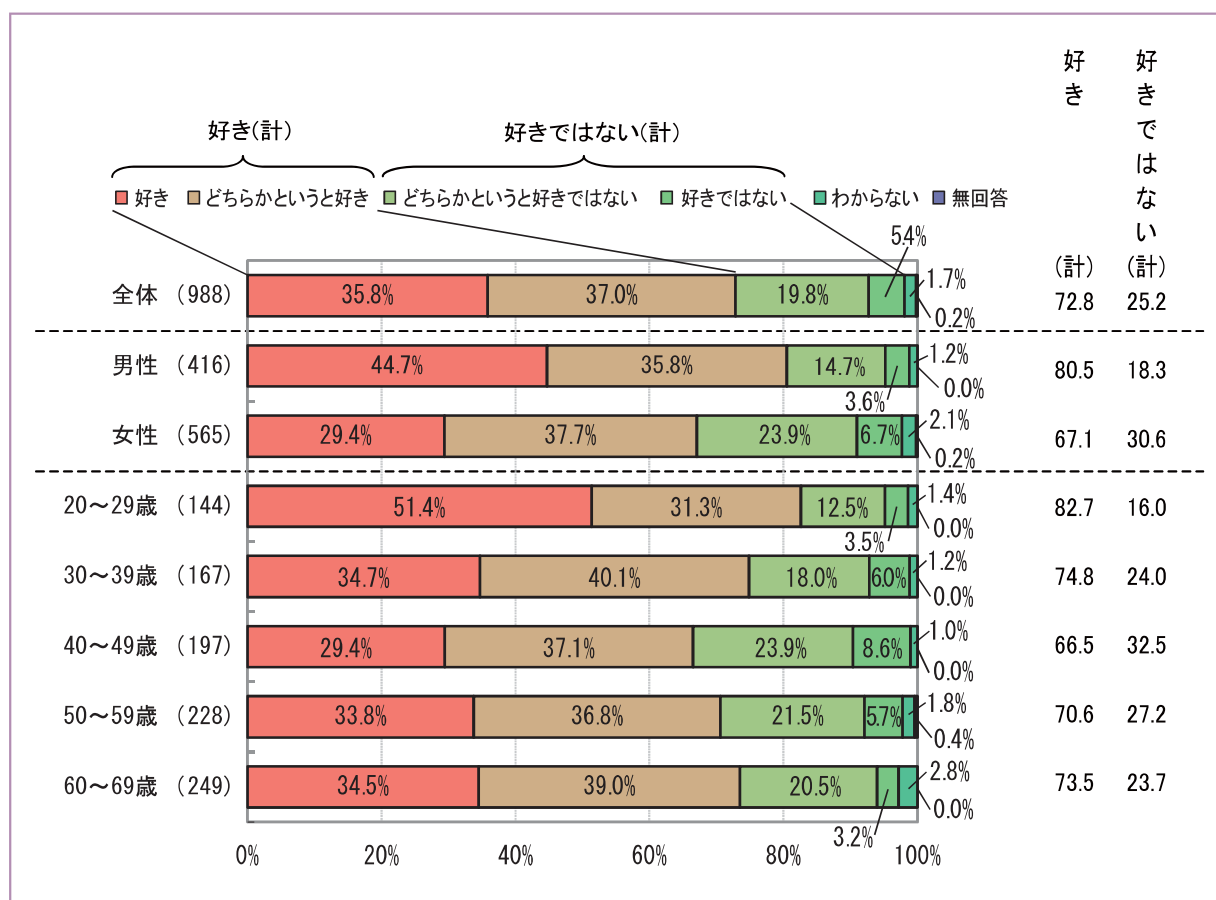
問7 運動やスポーツなど体を動かすことは好きですか。(○は1つ)



体を動かすことについて、普段から運動していると思われる施設利用者では、『好き(計)』とする回答が9割弱となっているが、郵送分でも約7割を超えている。平成14年調査時と比較すると、「好き」との割合が低くなっている。

問6で運動不足を感じているとの回答が8割を超えているが、その一方で、体を動かすことが好きとの回答が高くなっており、体を動かしたいと思っているが、思うようにスポーツ活動が行えていないことがわかる。

(郵送分内訳)

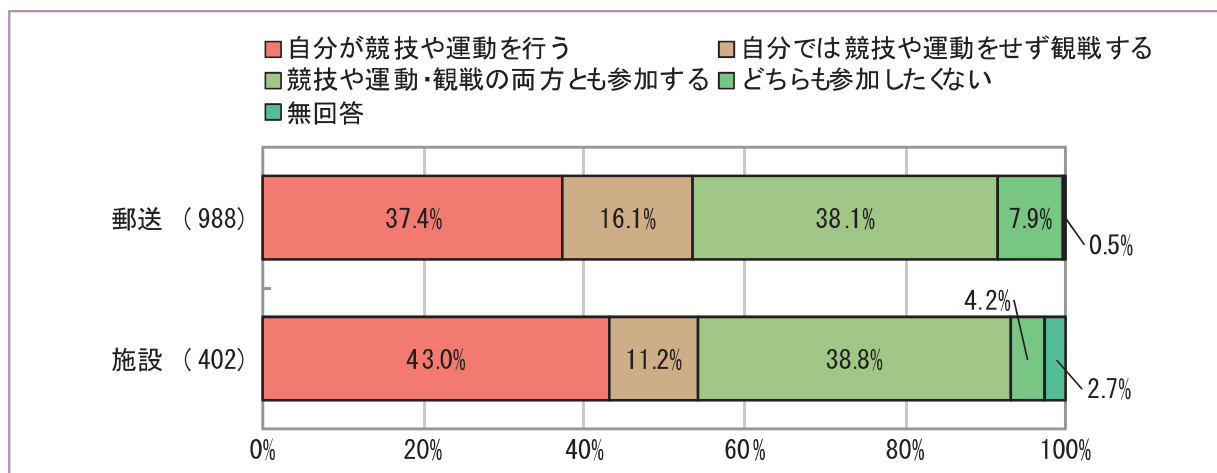


郵送分について性別でみると、「好き」は男性（44.7%）が女性（29.4%）よりも15.3ポイント高くなっており、『好き(計)』においても、13.4ポイント高くなっている。

年齢別でみると、20～29歳で『好き(計)』が82.7%ともっとも高く、40～49歳では『好きではない(計)』（32.5%）が30%を超えている。

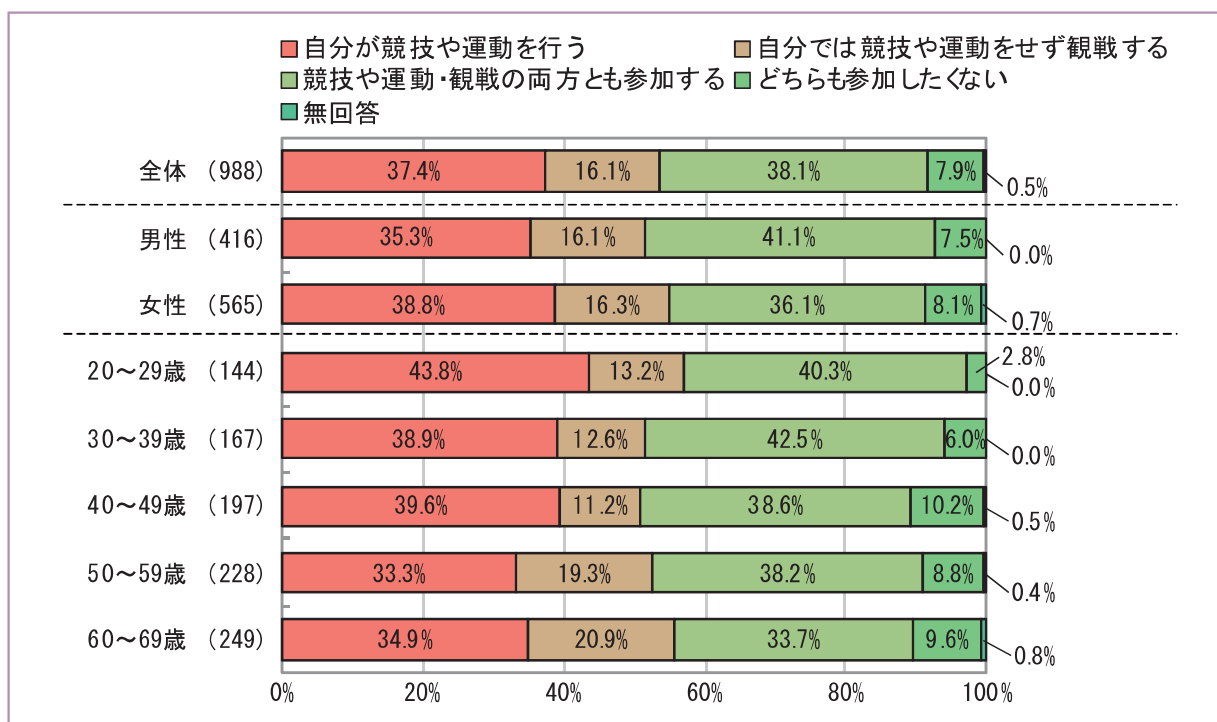
4) 参加したい運動・スポーツ

問8 運動やスポーツに参加するとしたら、どのように参加したいと思いますか。(○は1つ)



参加したい運動・スポーツについて、「自分が競技や運動を行う」、「競技や運動・観戦の両方とも参加する」共に約40%であり、全体の約80%が参加について、競技で参加したいと思っている。

(郵送分内訳)



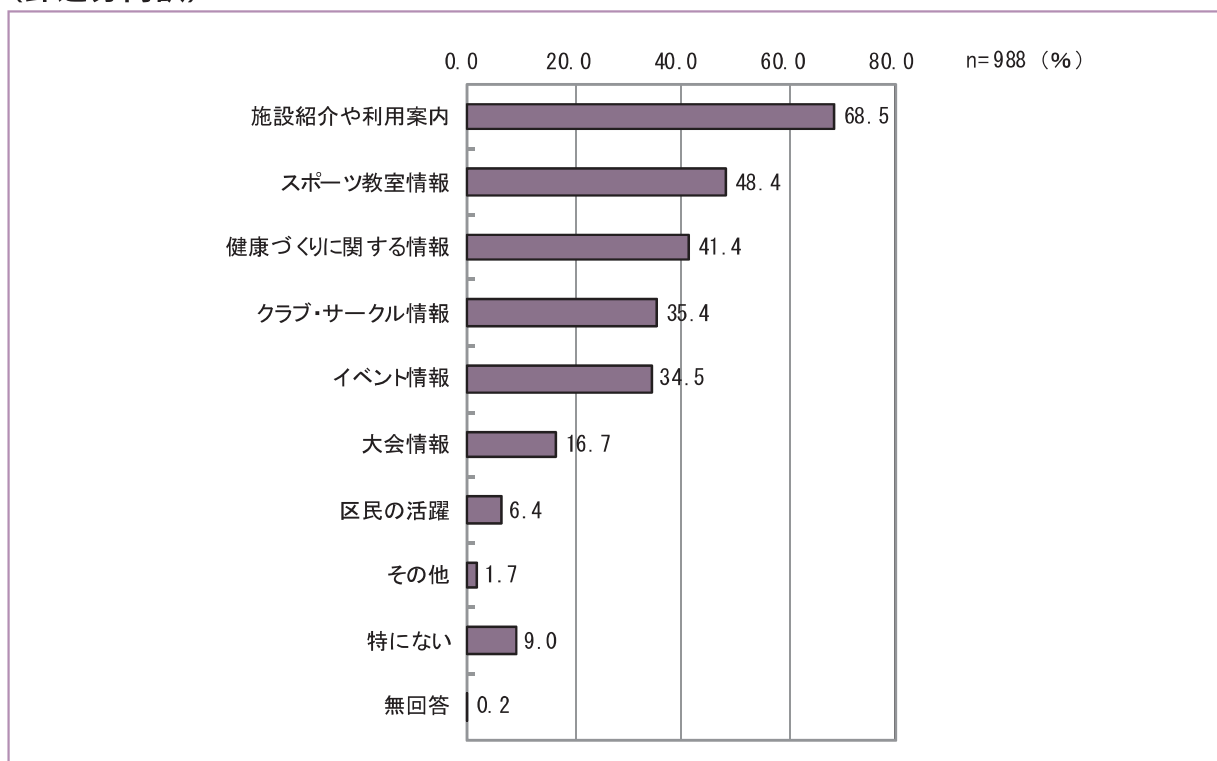
郵送分について性別でみると、「自分が競技や運動を行う」では男性(35.3%)より女性(38.8%)が3.5ポイント高く、「競技や運動・観戦の両方とも参加する」は女性(36.1%)より男性(41.1%)が5.0ポイント高くなっている。

年齢別でみると、20～29歳で「自分が競技や運動を行う」が43.8%と最も高く、年齢が高くなるとその割合は低くなる傾向にあり、50～59歳、60～69歳では、「自分では競技や運動をせず観戦する」が約2割と他と比べて高くなっている。

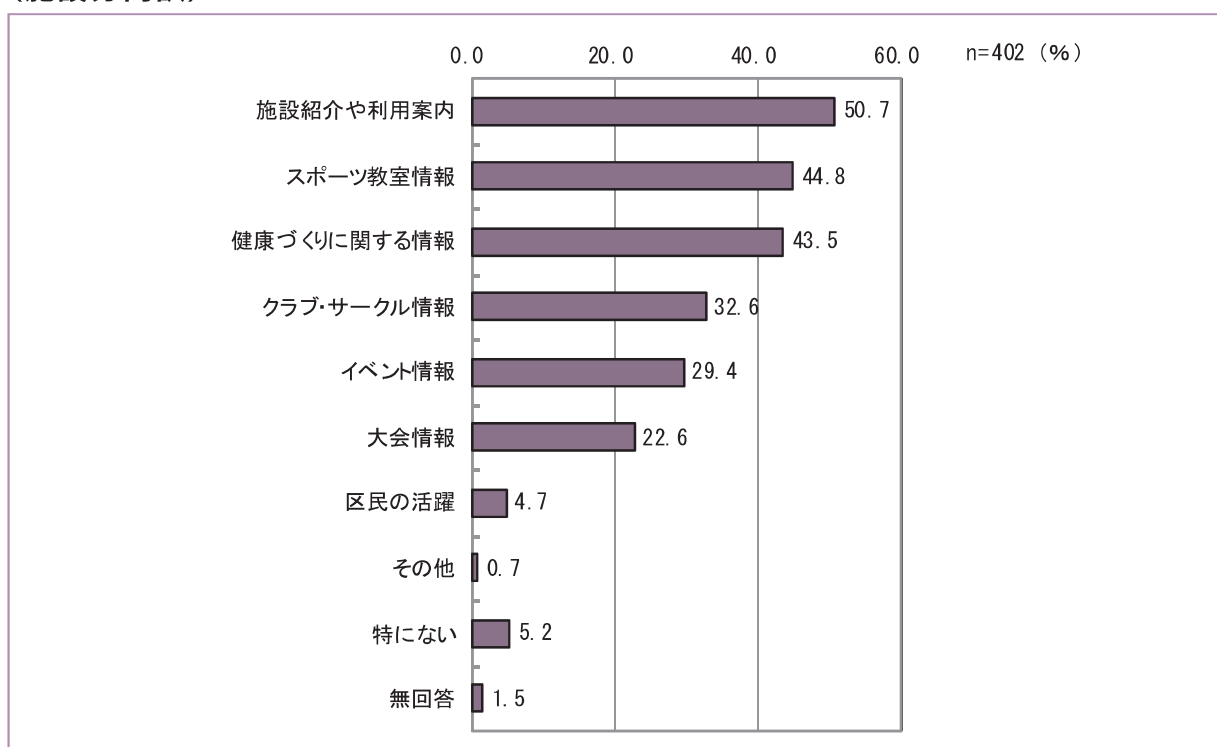
5) 運動・スポーツに関して必要な情報

問9 運動やスポーツに関してどのような内容の情報が必要ですか。(○はいくつでも)

(郵送分内訳)



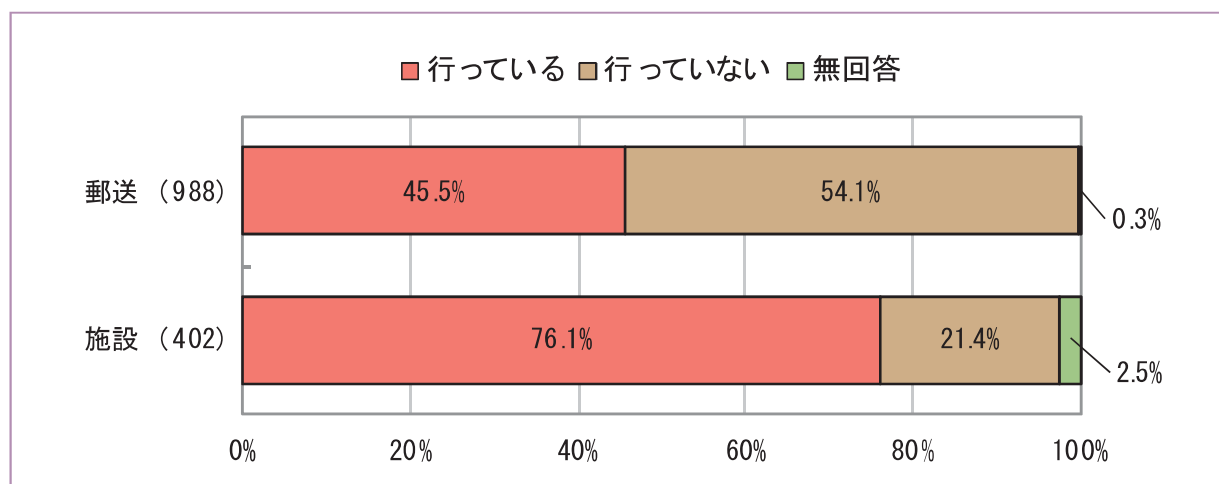
(施設分内訳)



運動・スポーツに関して必要な情報について、「施設紹介や利用案内」は郵送分（68.5%）、施設利用者（50.7%）共に高くなっているため、一層の情報提供が求められている。

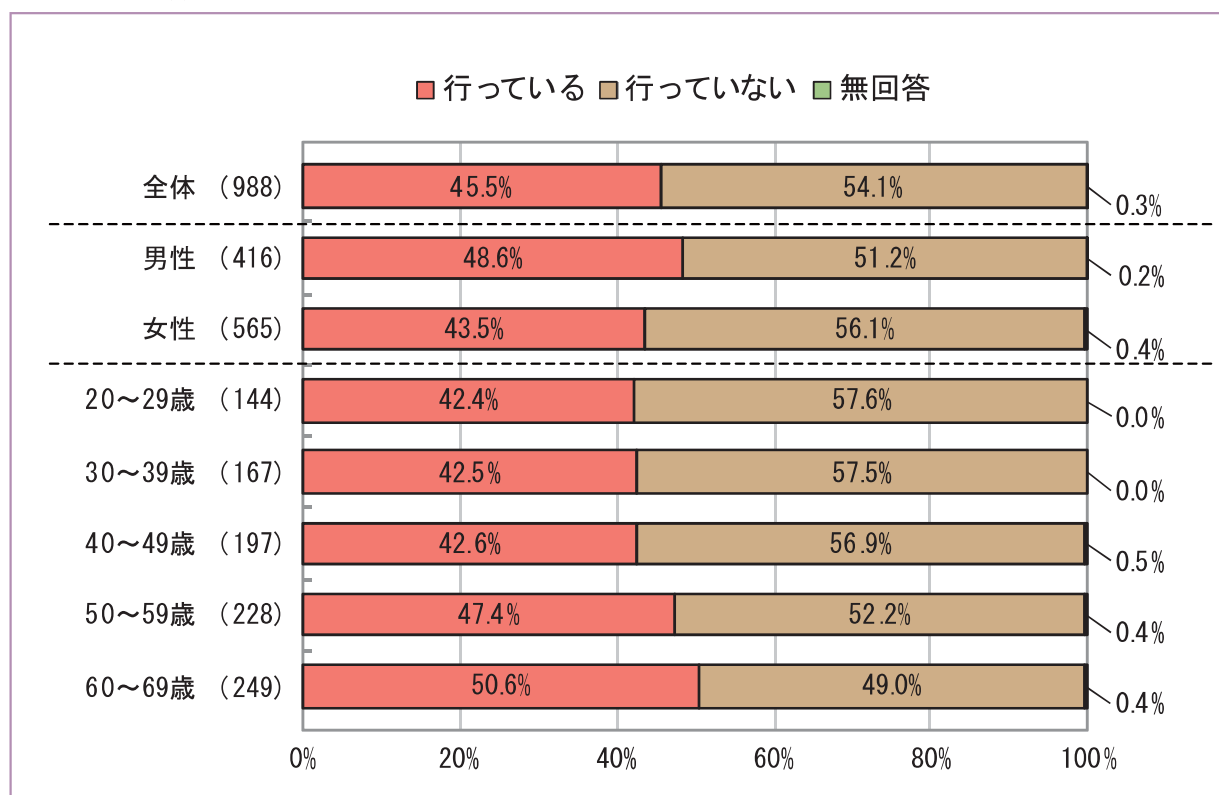
6) 普段の生活での運動・スポーツの実施

問 10 普段の生活で運動やスポーツを行っていますか。(○は1つ)



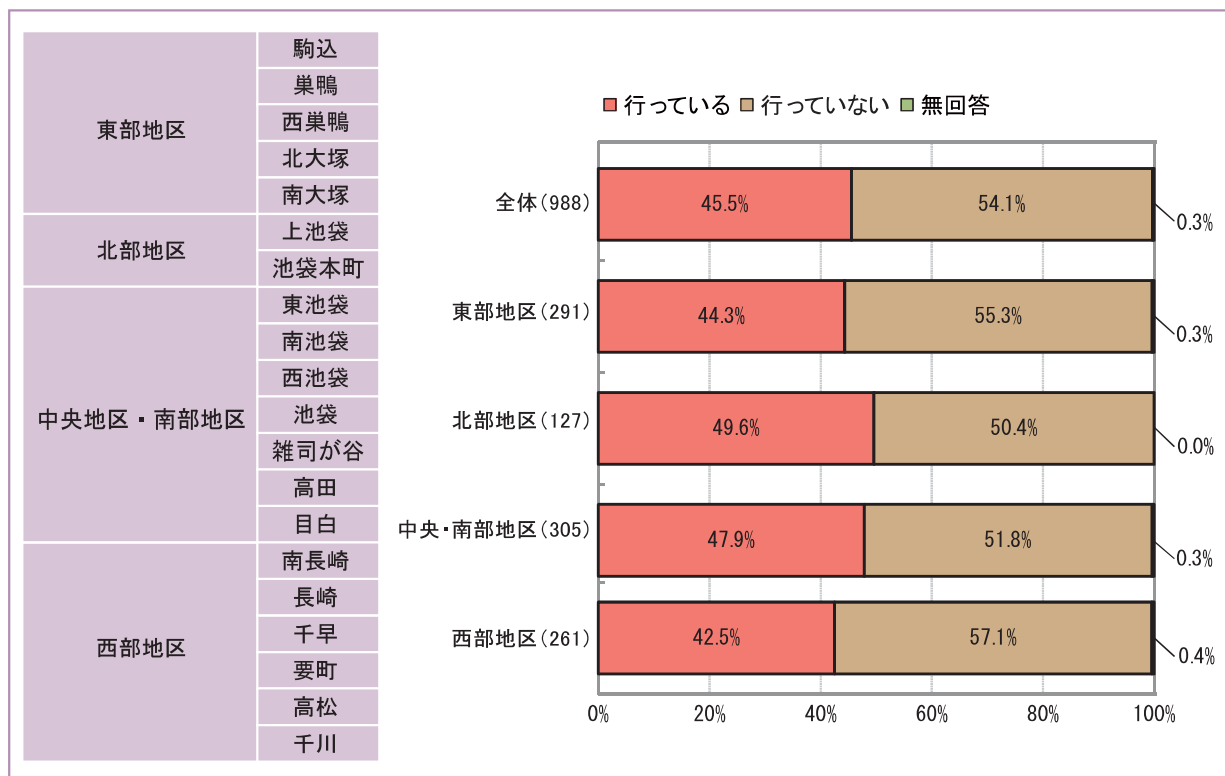
普段の生活での運動・スポーツの実施について、郵送分では「行っている」、「行っていない」の割合がほぼ半数ずつであるが、普段から運動していると思われる施設利用者では、「行っている」が約8割となっている。

(郵送分内訳)



男女別では差はほとんどないが、年齢別でみると、50代以上で「行っている」の割合が高く、40代以下では低くなっている。

(郵送分内訳)



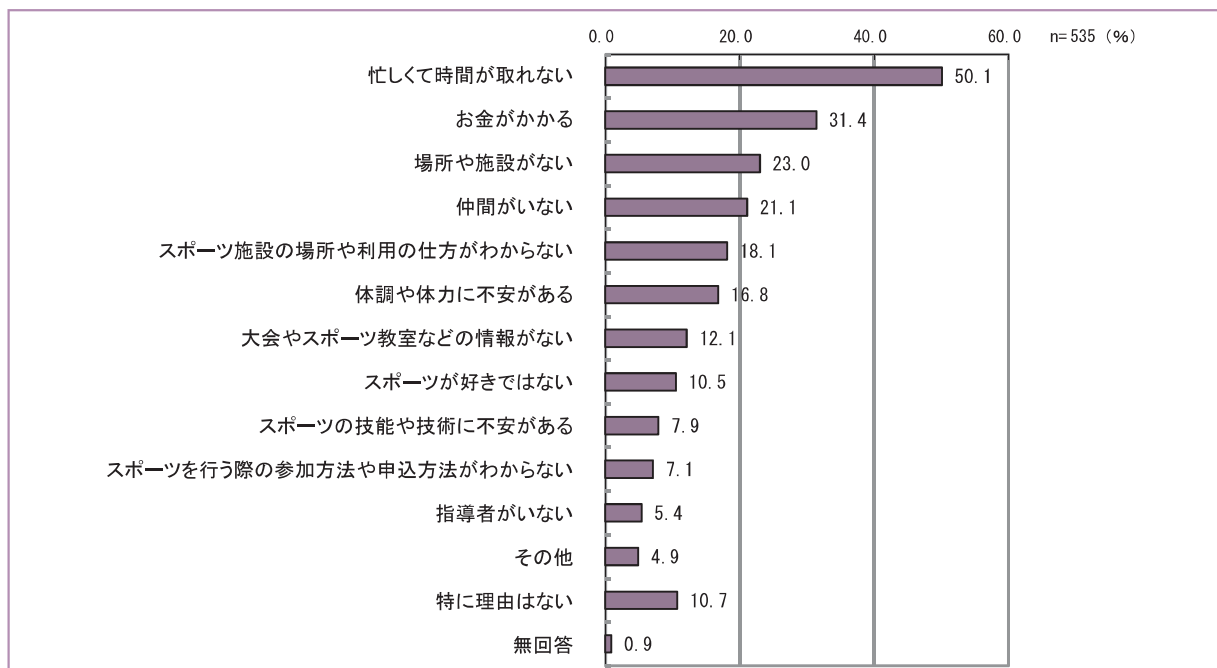
郵送分について居住地区別でみると、若干ではあるが「行っている」では北部地区（４９．６％）が高く、逆に西部地区（４２．５％）が低くなっている。

7) 運動・スポーツを行っていない理由

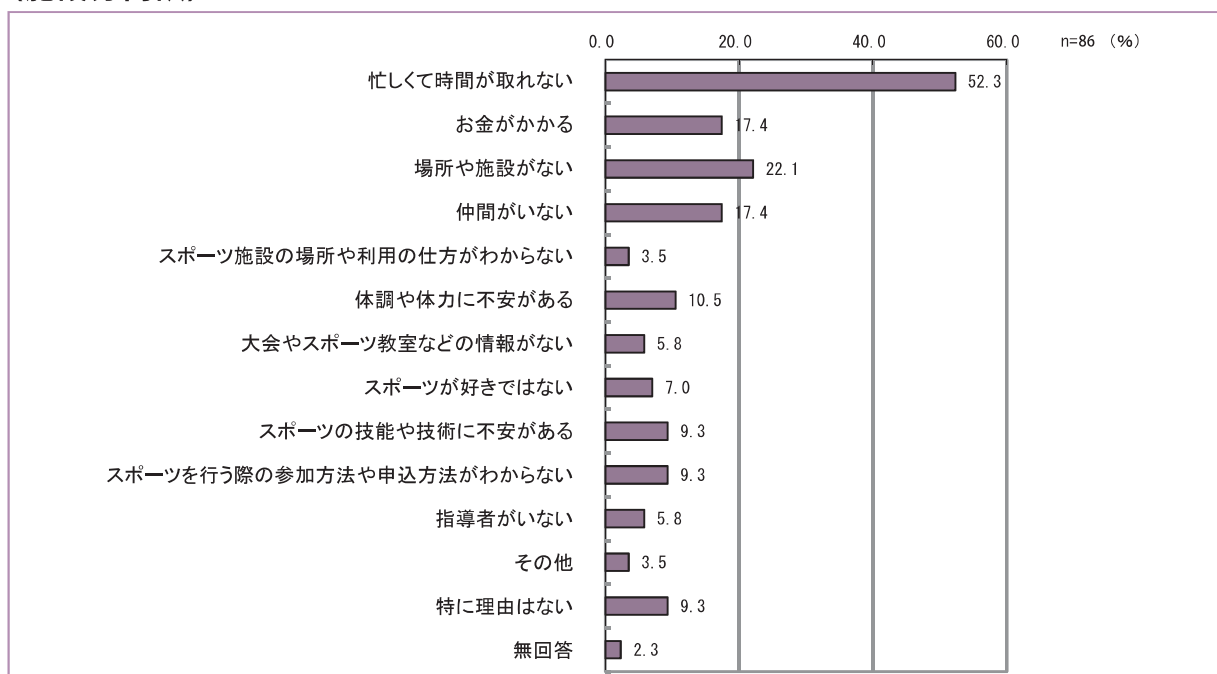
問10で「行っていない」と回答された方だけに伺います。

問 11 運動やスポーツを行っていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

(郵送分内訳)



(施設分内訳)

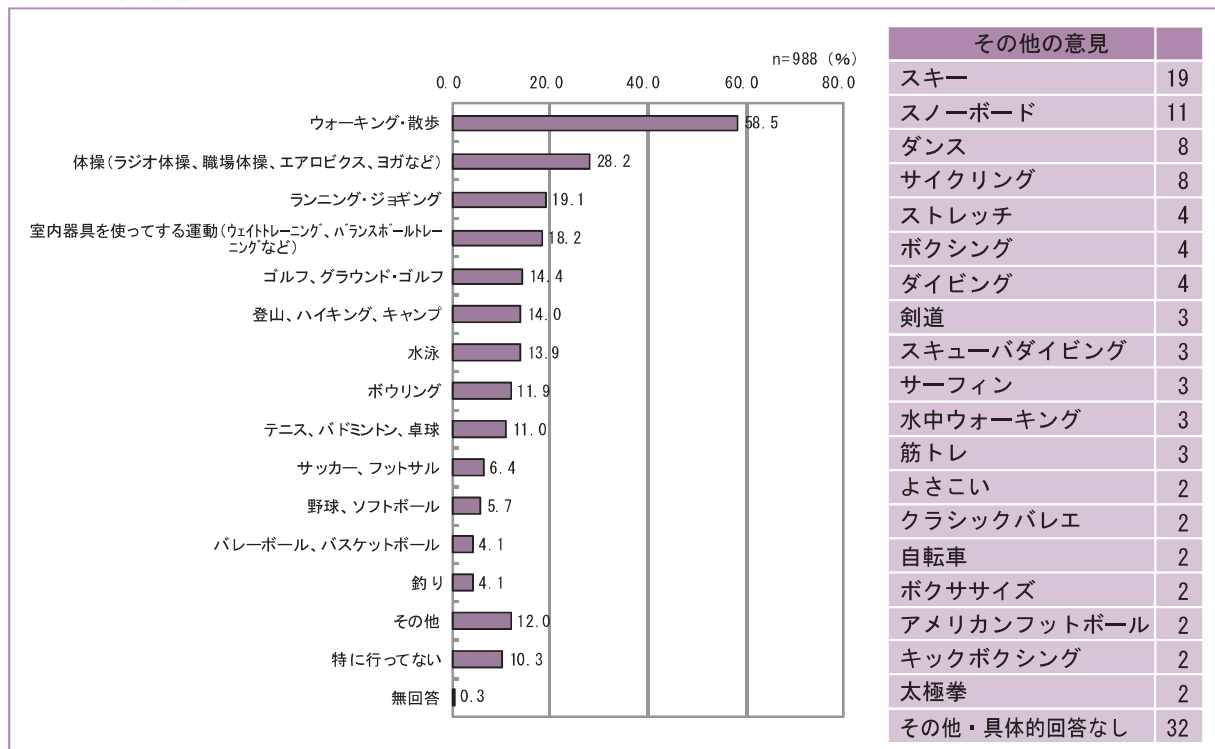


運動・スポーツを行っていない理由について、郵送分（50.1%）、施設利用者（52.3%）とも「忙しくて時間が取れない」が他よりも相当多くなっている。郵送分では「お金がかかる」が2番目に多くなっている。また、郵送分・施設利用者共に「場所や施設がない」や「仲間がいない」も比較的多くなっている。

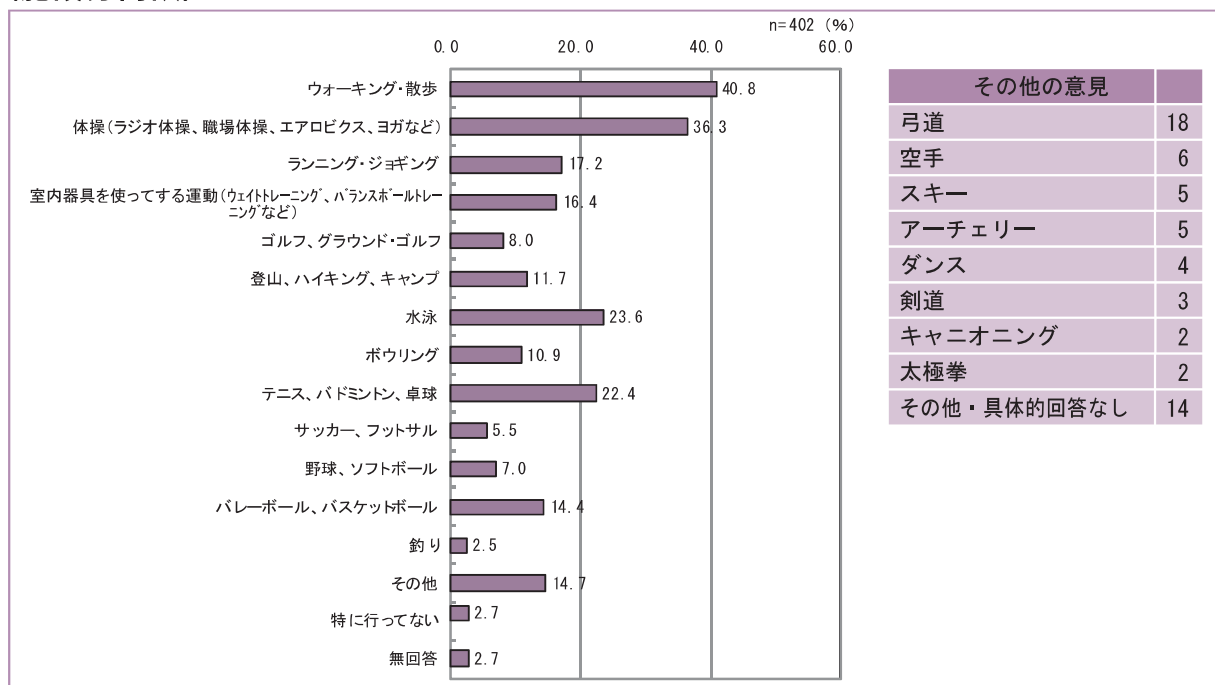
8) 1年間に行った運動・スポーツ

問12 この1年間にあなたが行った運動やスポーツは何ですか。(○はいくつでも)

(郵送分内訳)



(施設分内訳)

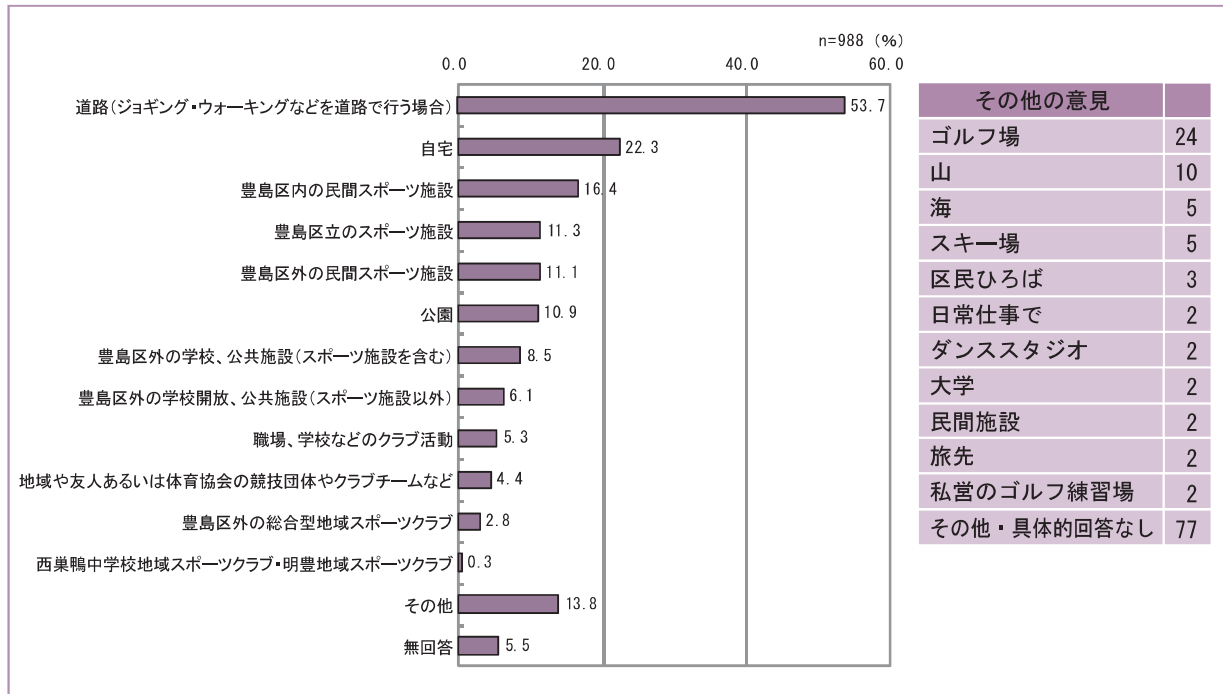


1年間に行った運動・スポーツについて、郵送分では「ウォーキング・散歩」、「体操」、「ランニング・ジョギング」、「室内器具を使ってする運動」など、個人でできるものの割合が高い。施設利用者でも「ウォーキング・散歩」、「体操」が多いが、「水泳」、「テニス、バドミントン、卓球」、「バレーボール、バスケットボール」など、施設で行えるものの割合も高くなっている。

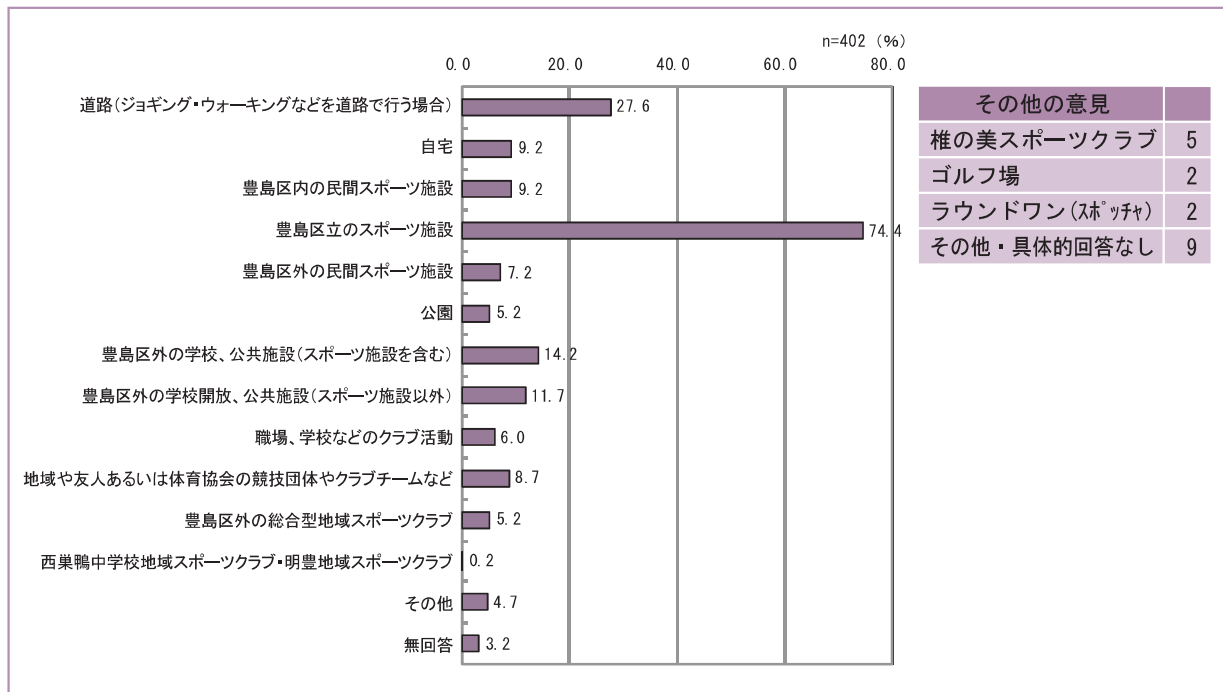
9) 運動・スポーツを行う場所

問 13 どのようなところで運動やスポーツを行っていますか。(○はいくつでも)

(郵送分内訳)



(施設分内訳)

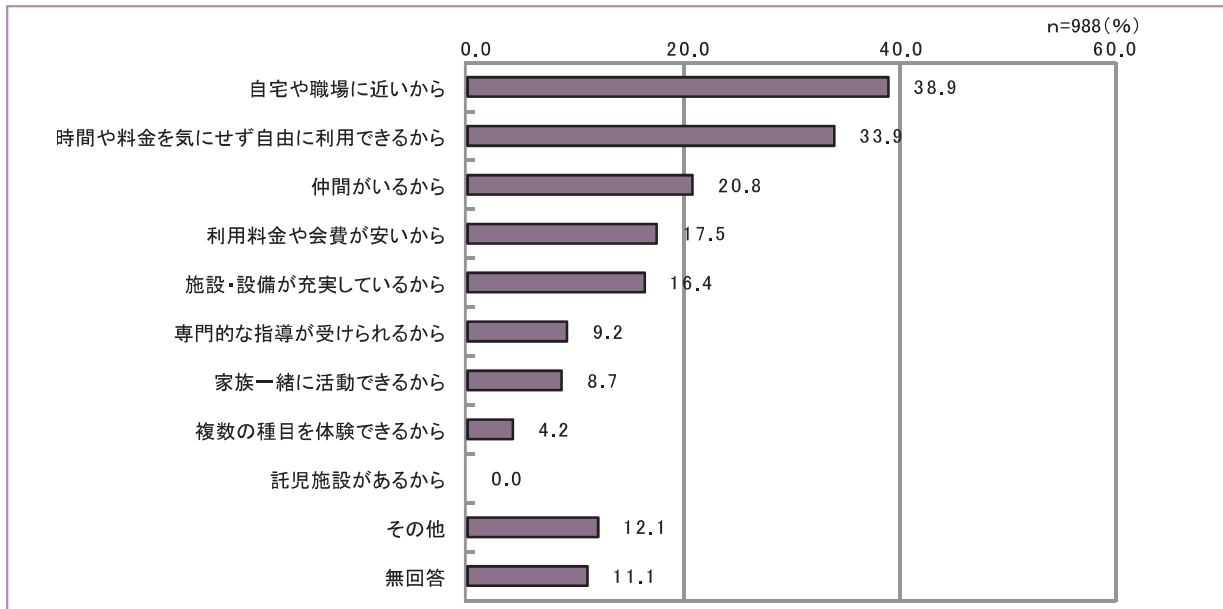


運動・スポーツを行う場所について、問12の結果を反映している。郵送分では「豊島区内の民間スポーツ施設」の利用者は「豊島区立のスポーツ施設」の利用者より多くなっている。また、「豊島区外の民間スポーツ施設」は「豊島区立のスポーツ施設」と同じくらいの割合で利用されている。

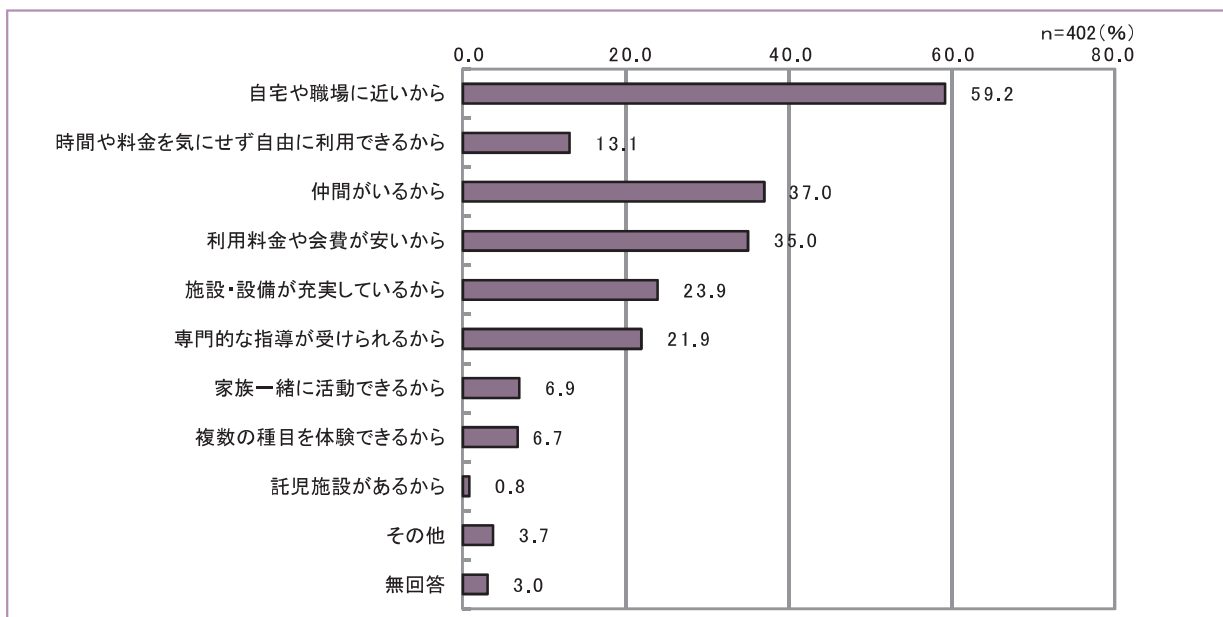
10) その場所で運動・スポーツを行う理由

問14 問13で回答された場所で運動やスポーツを行っている理由をおきかしてください。
(○はいくつでも)

(郵送分内訳)



(施設分内訳)

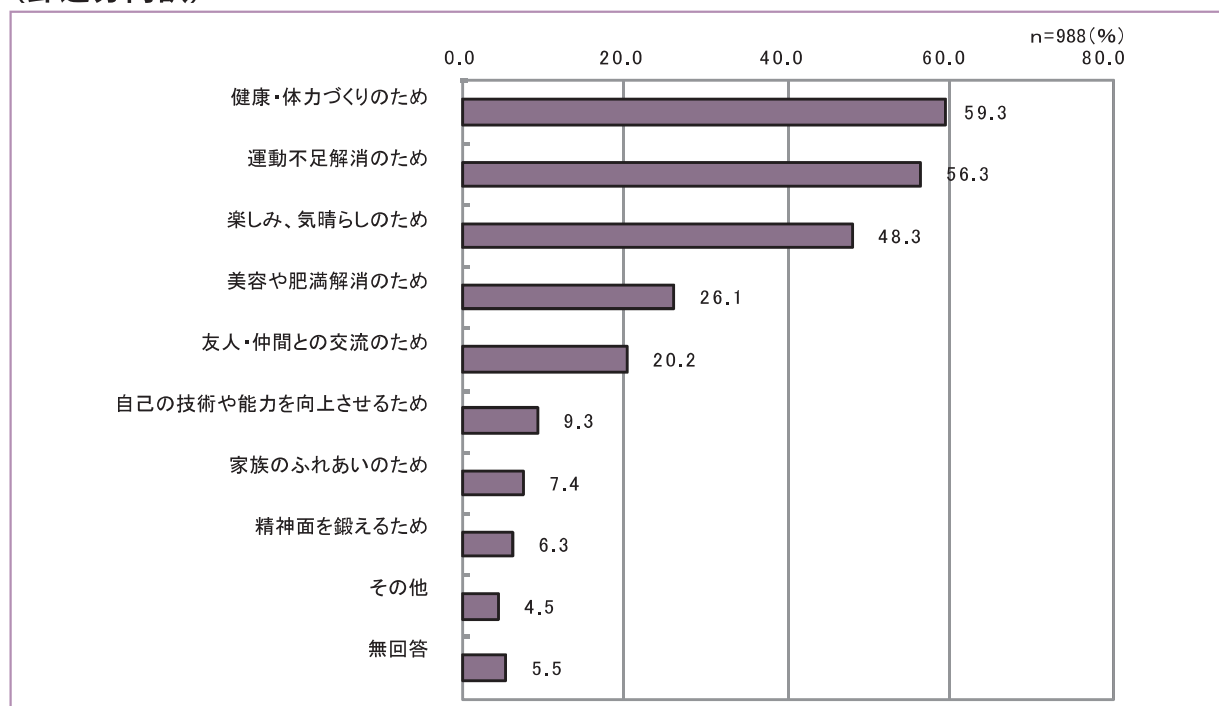


問13で回答された場所で運動・スポーツを行う理由について、郵送分（38.9%）、施設利用者（59.2%）とも「自宅や職場に近いから」がもっとも多いが、郵送分より施設利用者が20.3ポイント高くなっており、日常的に自宅や職場に近い施設でスポーツを行っていることがわかる。郵送分では「時間や料金を気にせず自由に利用できるから」が施設利用者より20.8ポイント高く、施設利用者では「仲間がいるから」、「利用料金や会費が安いから」が郵送分より17.0ポイント程度高くなっている。これは、郵送分においてジョギングやウォーキングなどを行っている人の割合が高い結果と関連があったと思われる。

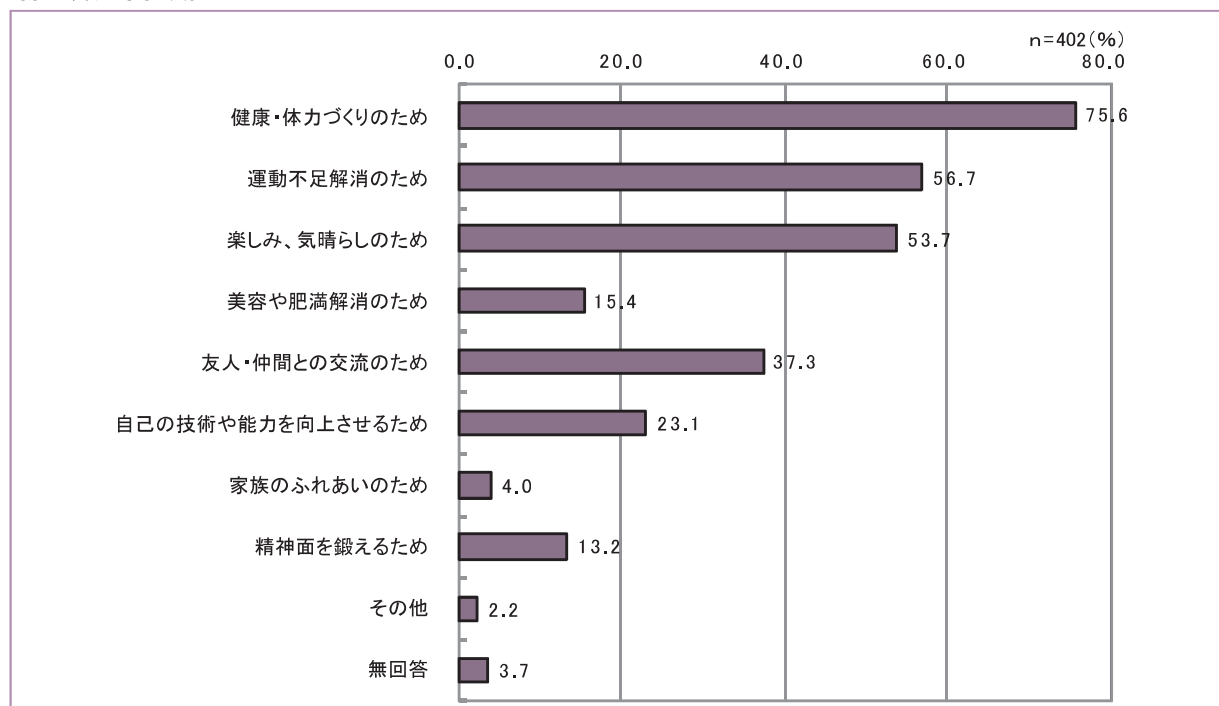
11) 運動・スポーツを行う理由

問15 運動やスポーツを行っている理由は何ですか。(○はいくつでも)

(郵送分内訳)



(施設分内訳)

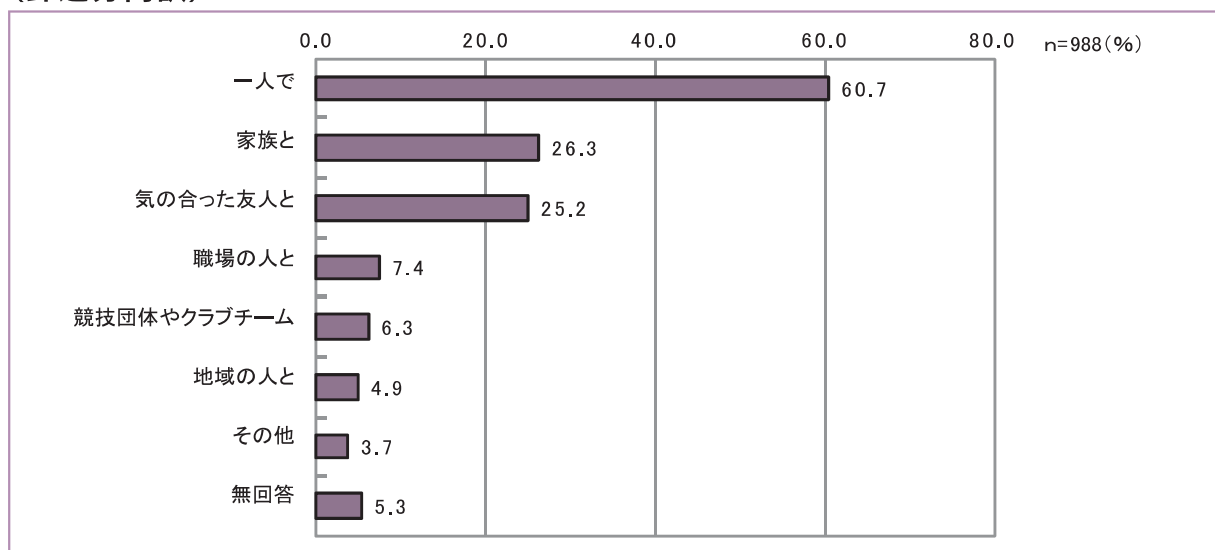


運動・スポーツを行う理由について、郵送分(59.3%)、施設利用者(75.6%)とも「健康・体力づくりのため」がもっとも多く、「運動不足解消のため」が2番目となっている。問6では約80%の人が運動不足を感じていると回答しており、実際には運動やスポーツをしている人でも運動不足解消までには至っていないと思われる。

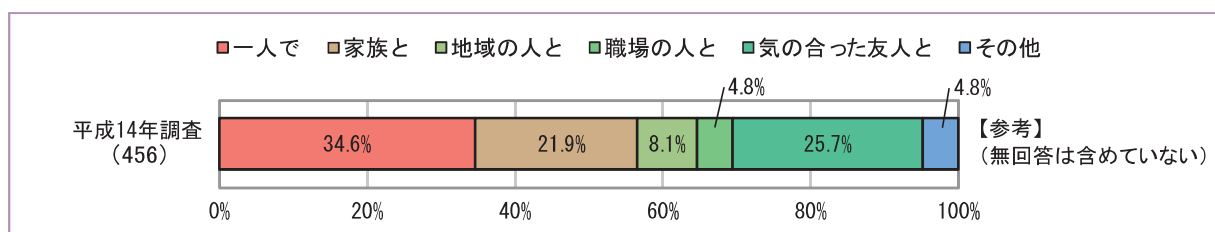
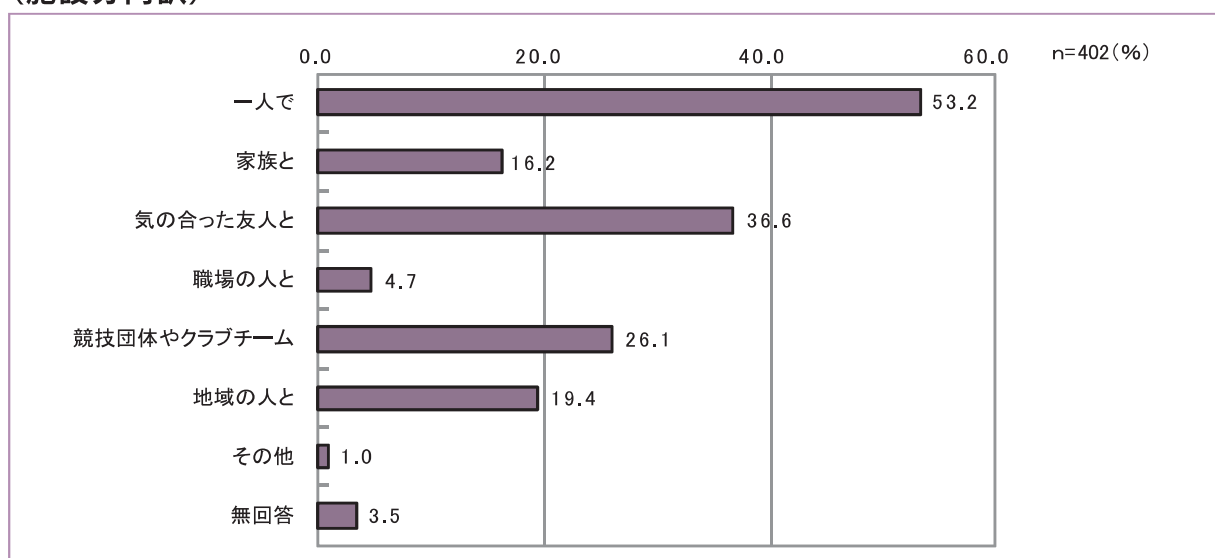
12) 運動・スポーツを主に一緒にに行っている人

問16 主にどなたと運動やスポーツを行っていますか。(○はいくつでも)

(郵送分内訳)



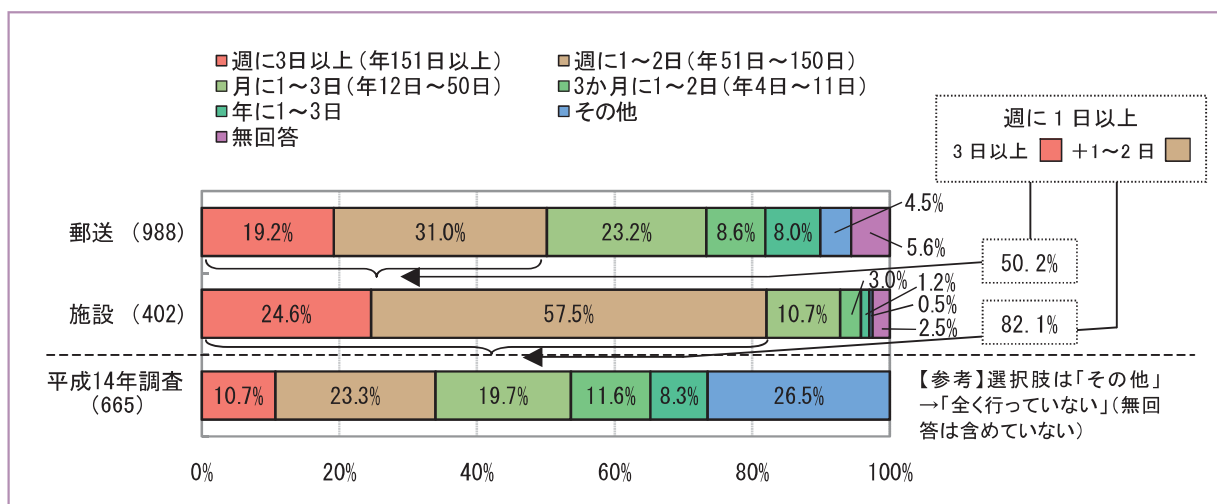
(施設分内訳)



運動・スポーツを主に一緒にに行っている人について、問12の結果を反映し、「一人で」がもっとも多くなっている。郵送分では「家族と」との回答も26.3%と比較的多くなっている。施設利用者では「気の合った友人と」、「競技団体やクラブチームで」など、大会などの団体利用を反映した結果であると思われる。平成14年調査時と比較すると、回答方式が異なるため一概には判断できないものの、全体の傾向としては変化がみられない。

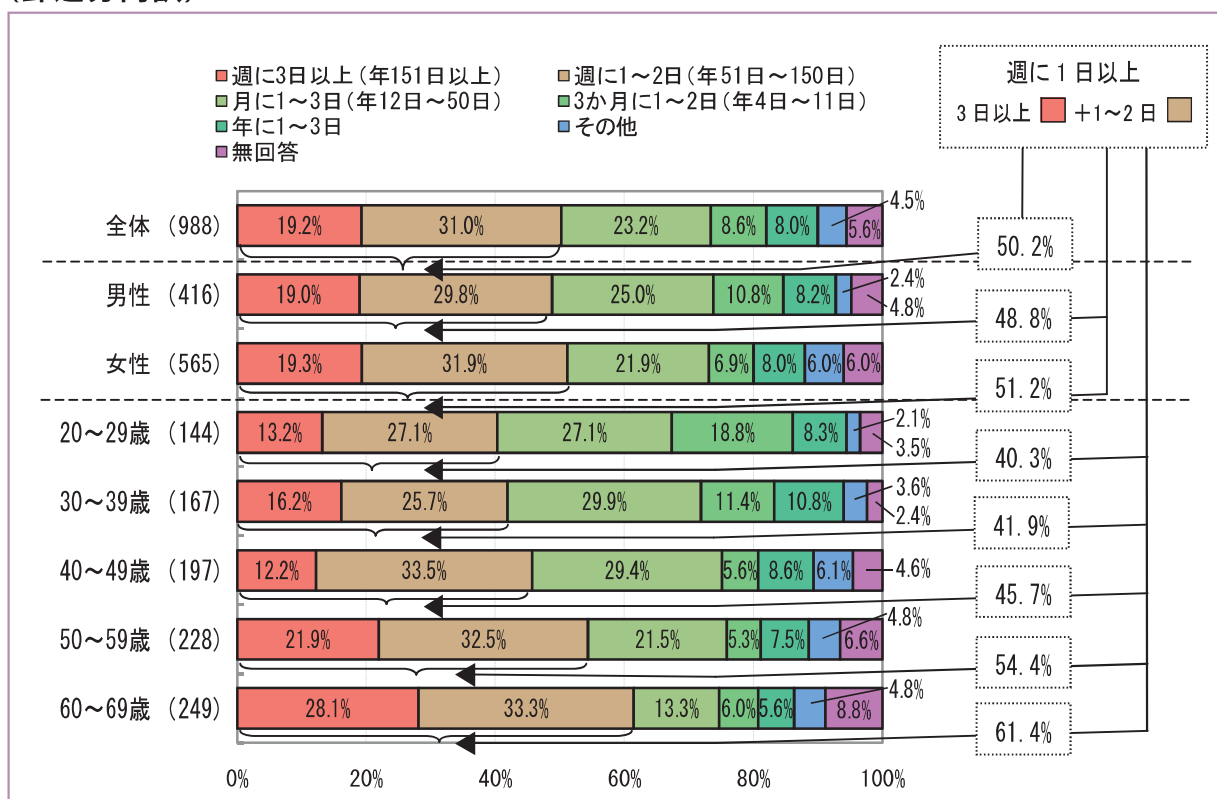
13) 運動・スポーツを行う頻度

問 17 運動やスポーツはどれくらいの頻度で実施していますか。(○は1つ)



運動・スポーツを行う頻度について、普段から運動していると思われる施設利用者では、『週1日以上』が約8割となっているが、郵送分では約5割となっている。平成14年調査時と郵送分とを比較してみても、運動する頻度が高くなっている。

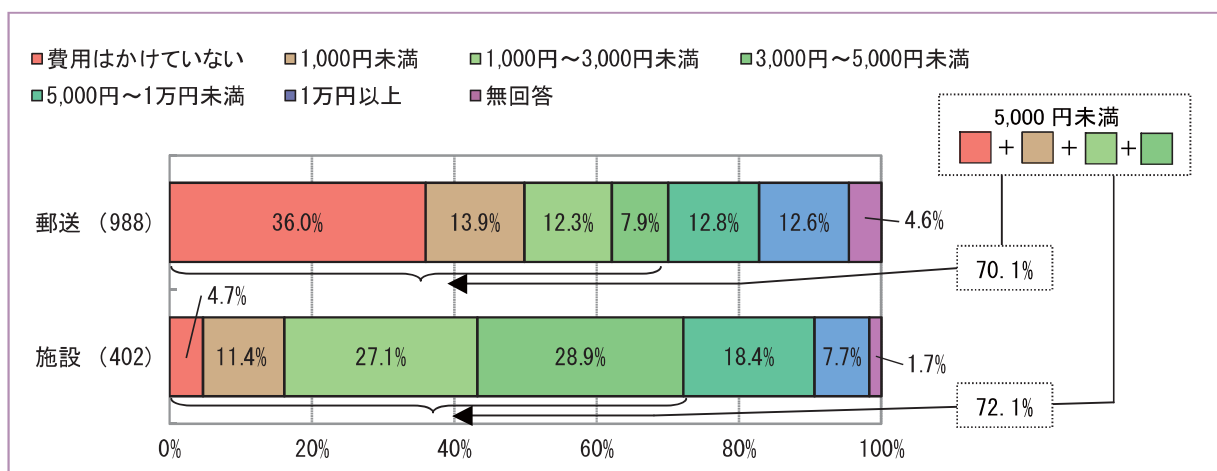
(郵送分内訳)



郵送分について性別でみると、ほぼ傾向は同様で『週1日以上』では約5割となっている。年齢別でみると、50代以上となると『週1日以上』が高くなっており、逆に20代、30代では低くなっている。

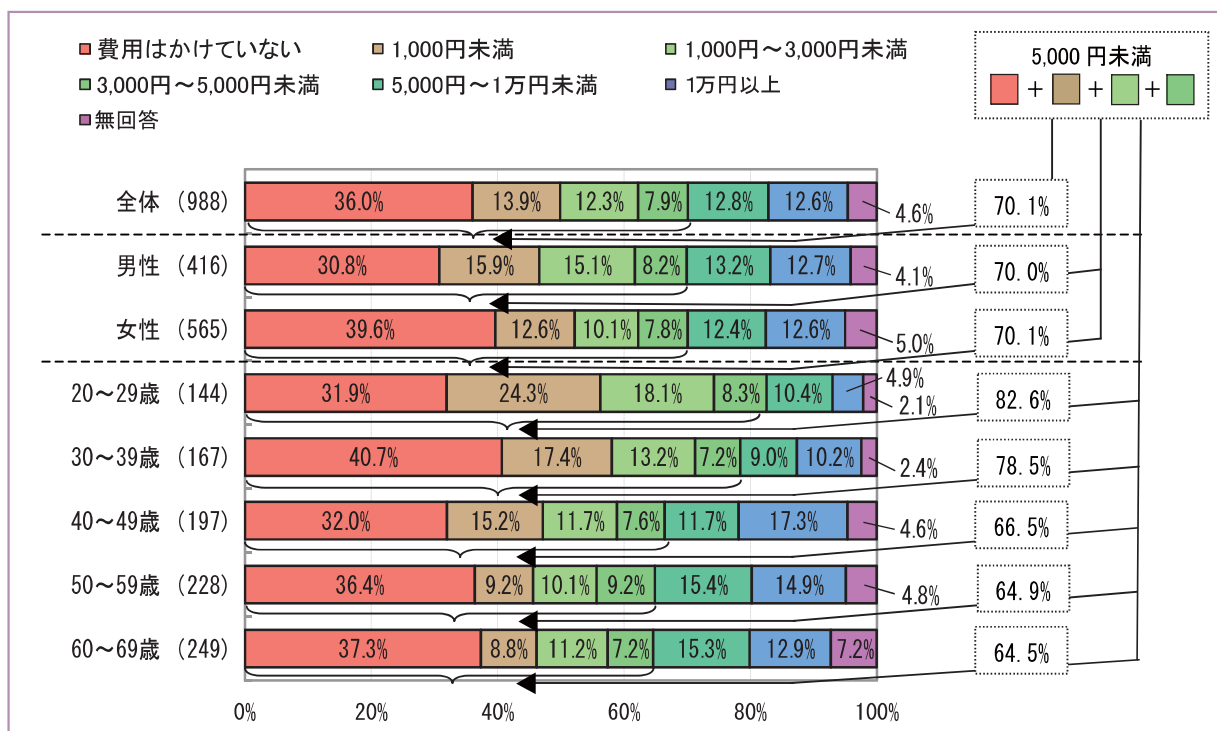
14) 1か月あたり運動・スポーツにかかる費用

問 18 1か月あたり、運動やスポーツ（観戦は除く）にどのくらいの費用をかけていますか。
（○は1つ）



1か月あたり運動・スポーツにかかる費用について、郵送分（70.1%）、施設利用者（72.1%）共に『5,000円未満』が約7割となっている。また、郵送分では「費用はかけていない」が36.0%と最も高くなっている。

（郵送分内訳）

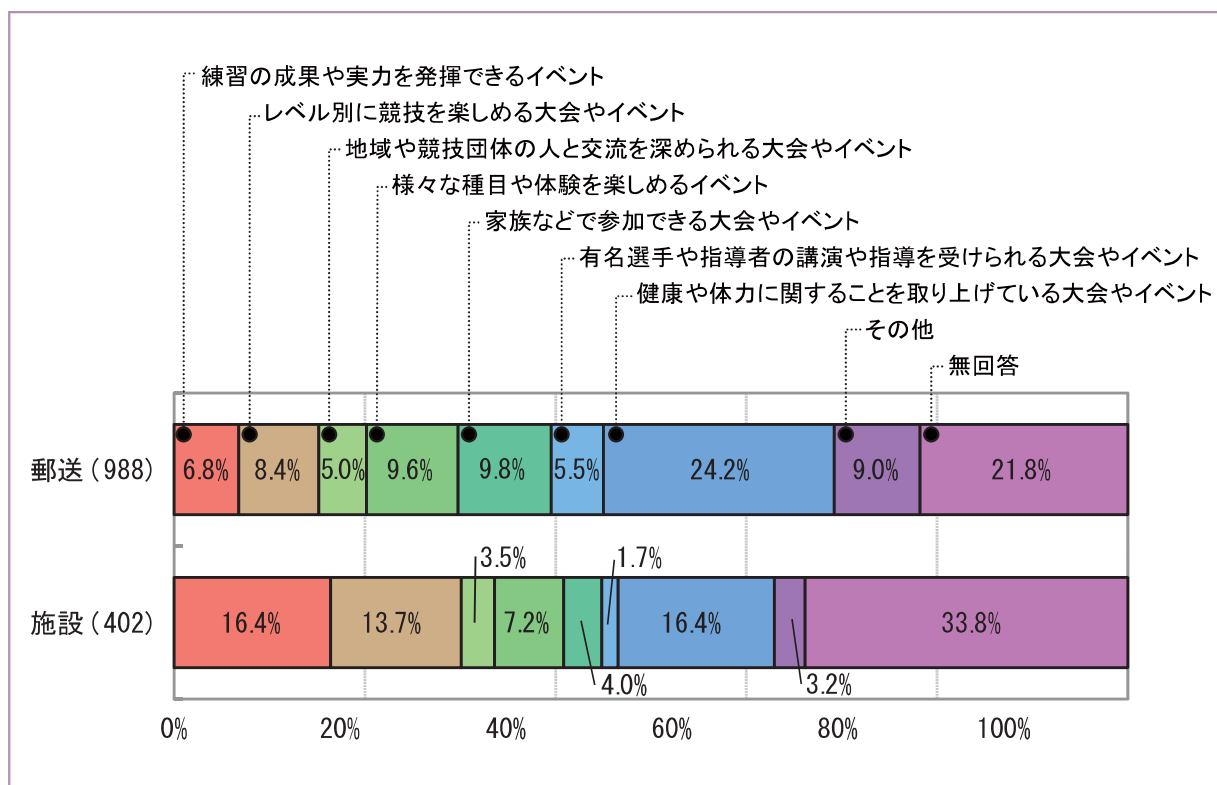


郵送分について性別でみると、『費用はかけていない』では男性（30.8%）より女性（39.6%）の方が高くなっている。

年齢別でみると、20～29歳で『5,000円未満』が82.6%と最も高く、年齢が高くなるとその割合は低くなっている。また、『1,000円以上』で集計してみると、40代、50代で高くなっている。

15) 参加したいスポーツ大会・イベント

問 19 どのようなスポーツ大会やイベントに参加したいと思いますか。(○は1つ)



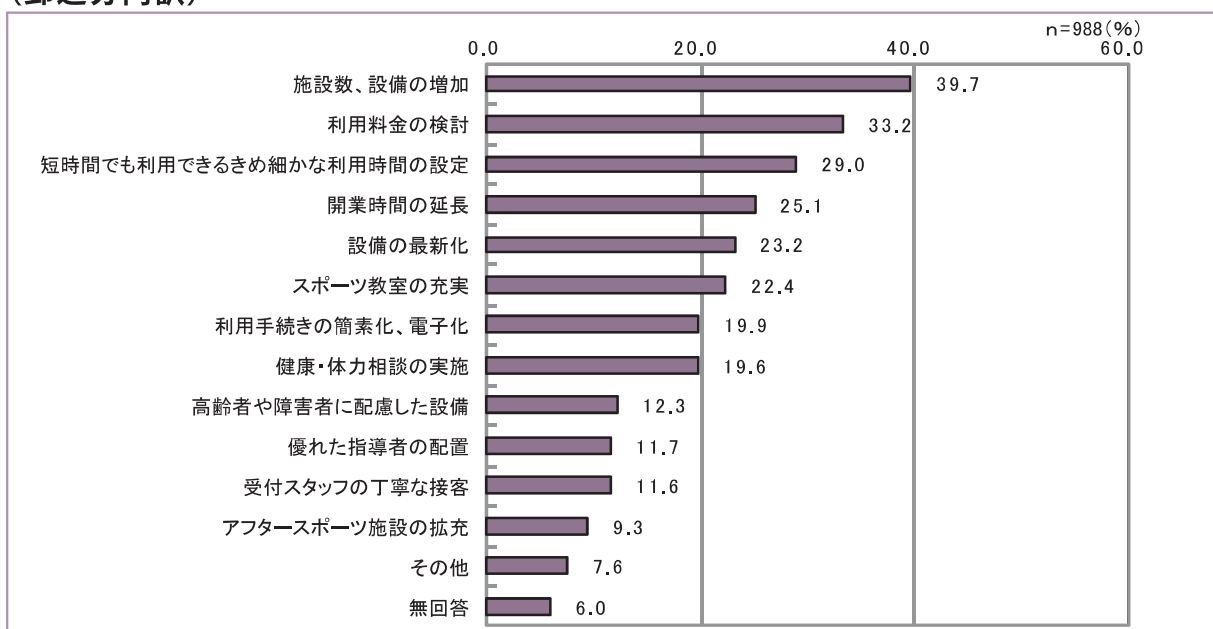
参加したいスポーツ大会・イベントについて、郵送分（24.2%）、施設利用者（16.4%）とも「健康や体力に関することを取り上げている大会やイベント」がもっとも多くなっている。施設利用者では、「練習の成果や実力を発揮できる大会やイベント」（16.4%）でもっとも高くなっており、郵送分と比べても高くなっている。また、「レベル別に競技を楽しめる大会やイベント」（13.7%）も郵送分より高い割合となっている。

3 スポーツ施設について

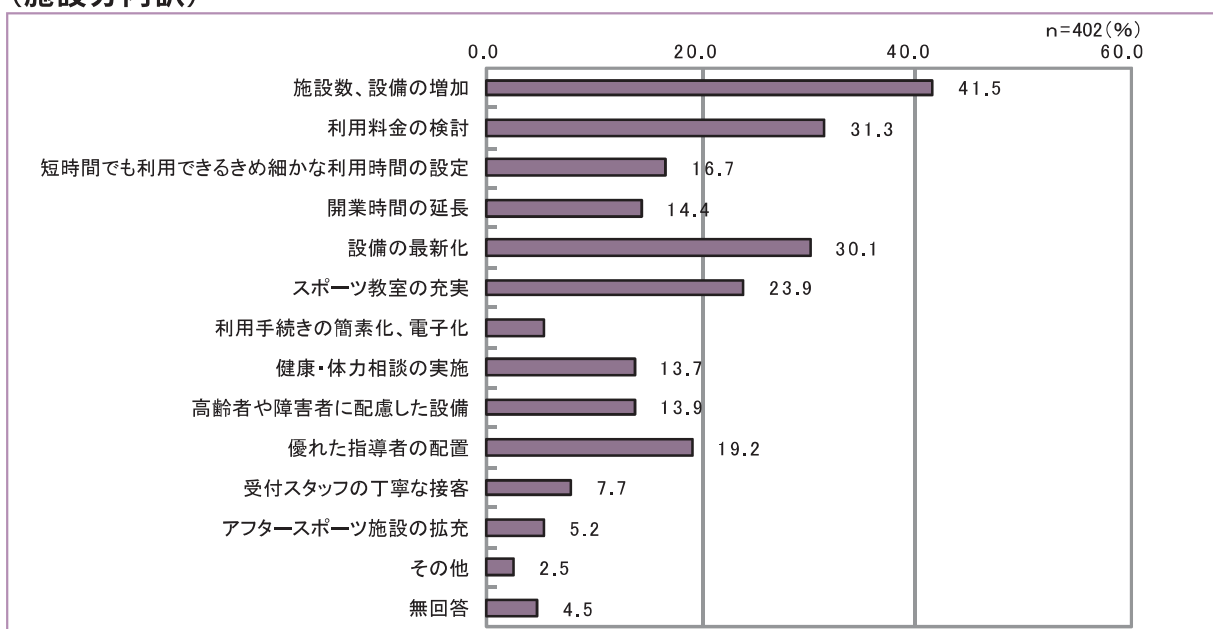
1) スポーツ施設に対する要望

問 20 区立スポーツ施設の利用に際し、どのようなことを望みますか。(○はいくつでも)

(郵送分内訳)



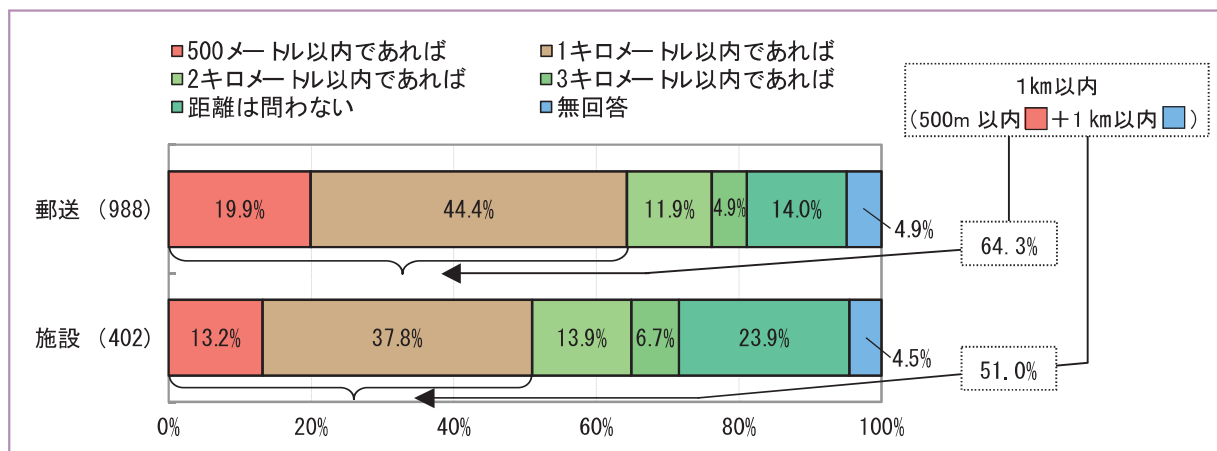
(施設分内訳)



スポーツ施設に対する要望について、郵送分(39.7%)、施設利用者(41.5%)とも「施設数、設備の増加」がもっとも多くなっているほか、「利用料金の検討」についても郵送分(33.2%)、施設利用者(31.3%)とも2番目に多くなっている。「短時間でも利用できるきめ細かな利用時間の設定」や郵送分では「開業時間の延長」の要望も高く、スポーツ施設の利用機会の拡大を求めているものと思われる。また、施設利用者では「設備の最新化」や「スポーツ教室の充実」が高く、実際に使用・利用に関する要望も高くなっている。

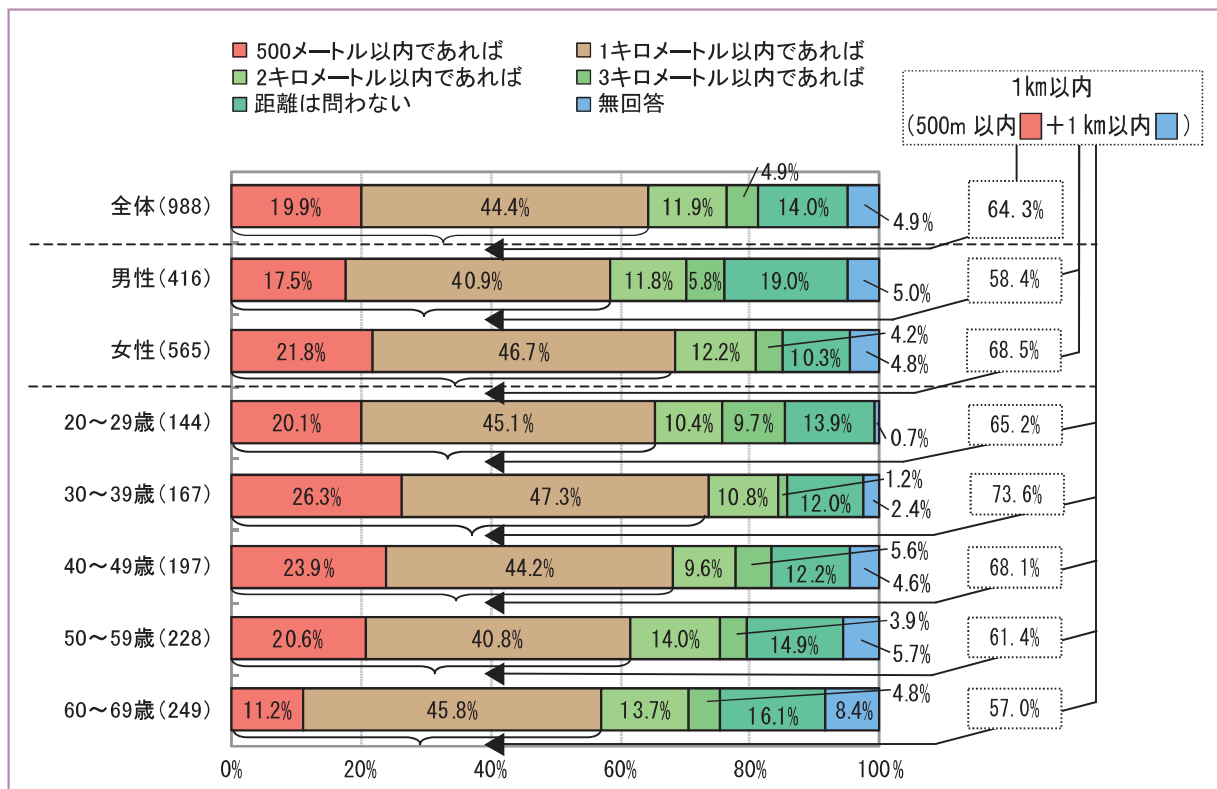
2) スポーツ施設までの理想の距離

問 21 自宅からスポーツ施設までの距離がどのくらいまでであれば利用しても良いと思いますか。(○は1つ)



スポーツ施設までの理想の距離について、郵送分では『1 km 以内』が約6割となっているが、普段から運動していると思われる施設利用者では、「距離は問わない」が郵送分（14.0%）より9.9ポイント高く23.9%となっている。

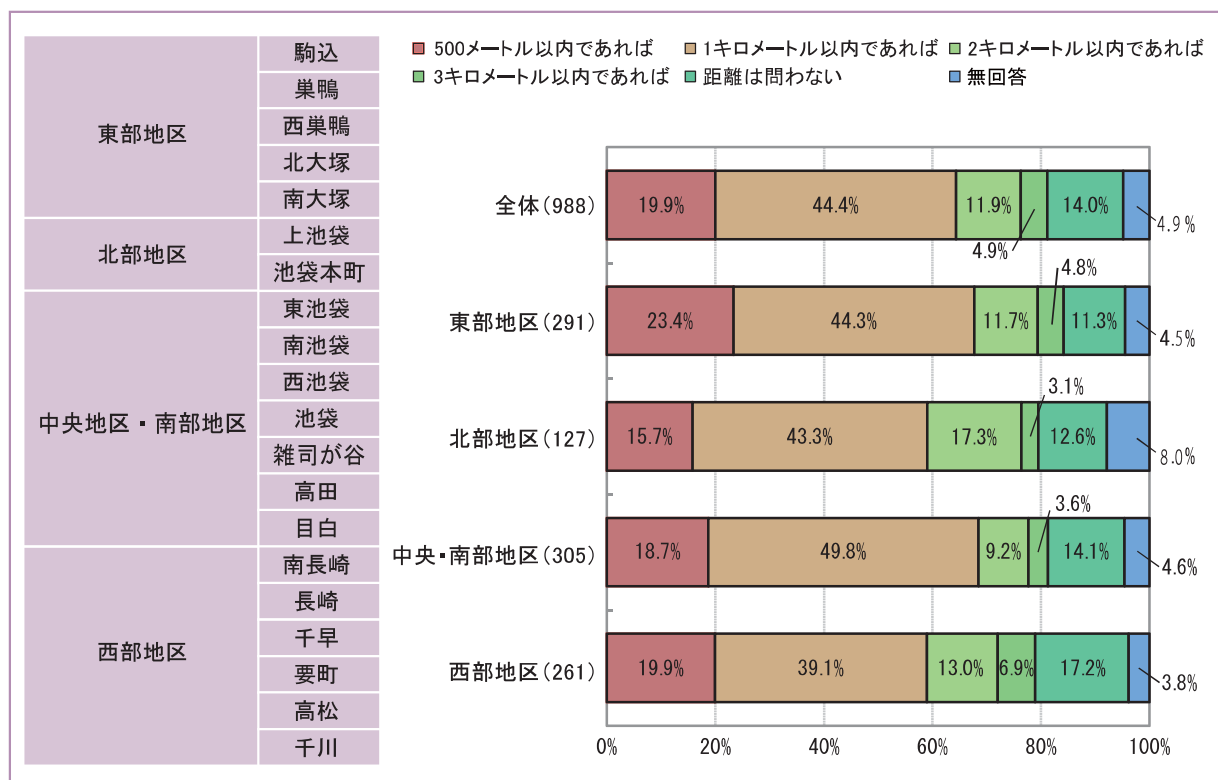
(郵送分内訳)



郵送分について性別でみると、『1 km 以内』では男性（58.4%）より女性（68.5%）が10.1ポイント高くなっている。

年齢別でみると、30～39歳では他の年代に比べて近くを望む傾向にあるが、20代、50～60代では、比較的距離があっても利用しても良いという結果となっている。

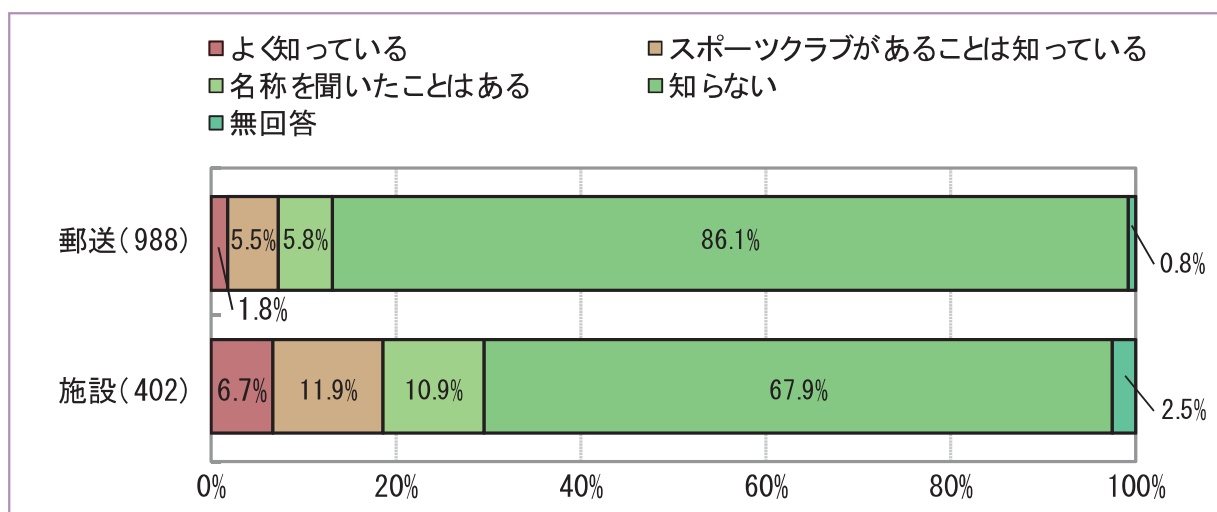
(郵送分内訳)



郵送分について居住地区別でみると、若干ではあるが「500メートル以内であれば」では東部地区（23.4%）が高く、「距離は問わない」では西部地区（17.2%）が高くなっている。また、北部地区では「2キロメートル以内であれば」（17.3%）との回答が他の地区よりも高くなっている。

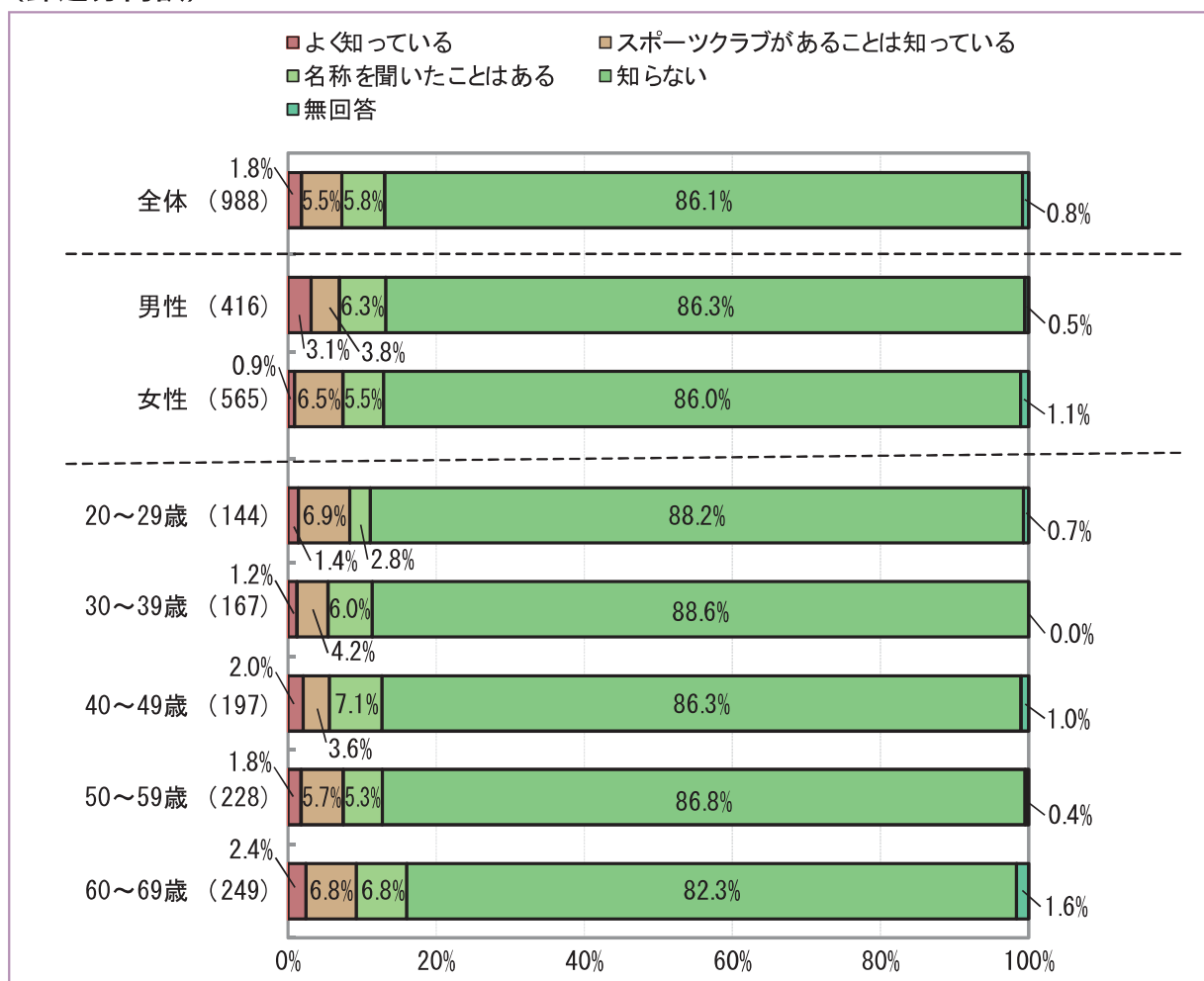
3) 総合型地域スポーツクラブの認知度

問 2 2 豊島区には西巢鴨中学校地域スポーツクラブ、明豊地域スポーツクラブの2つの総合型地域スポーツクラブがありますがご存知ですか。(○は1つ)



総合型地域スポーツクラブの認知度について、郵送分（86.1%）、施設利用者（67.9%）ともほとんどの人が「知らない」と回答している。

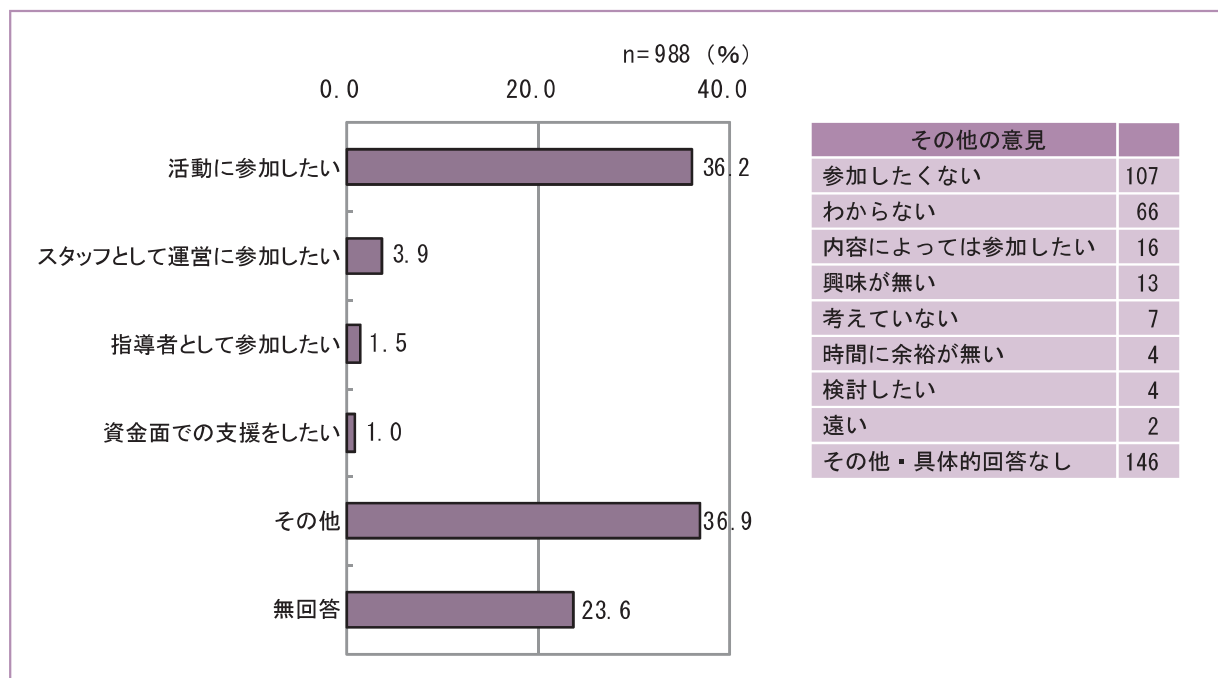
(郵送分内訳)



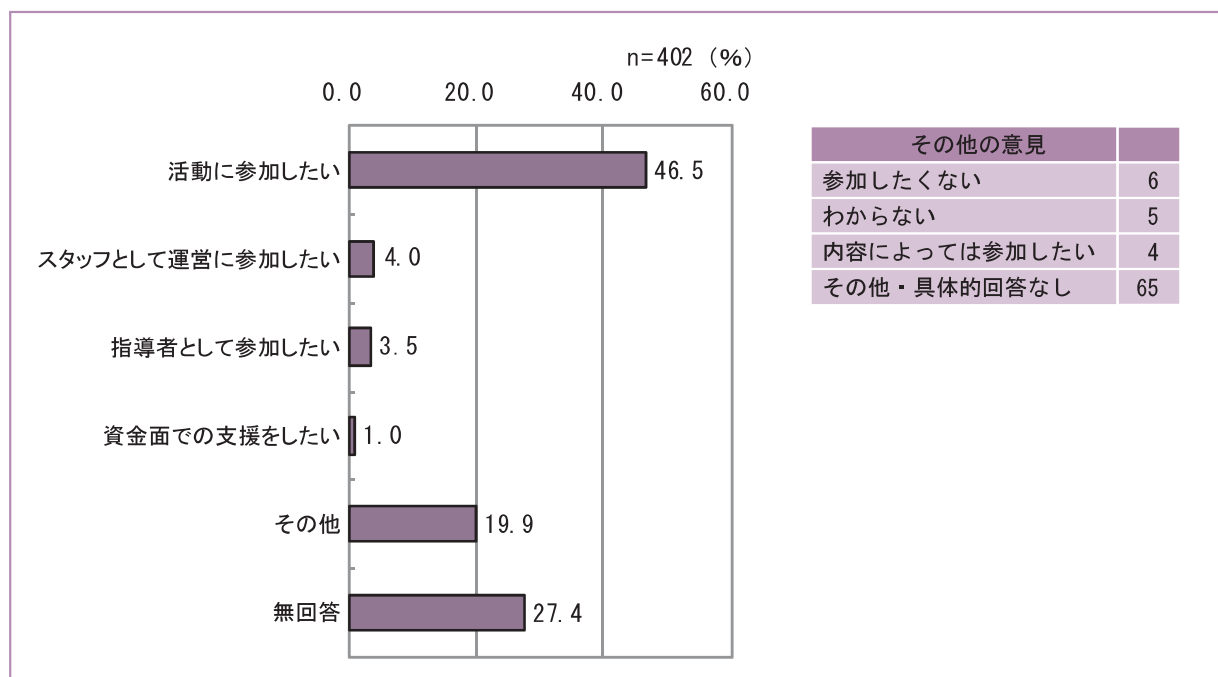
4) 総合型地域スポーツクラブへの参加

問 23 総合型地域スポーツクラブに参加したいと思いますか。(○はいくつでも)

(郵送分内訳)



(施設分内訳)

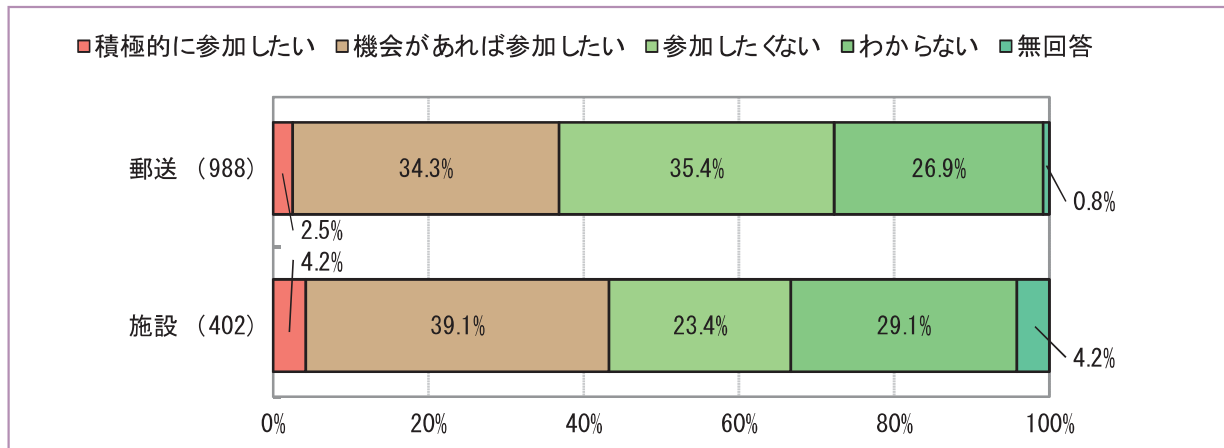


総合型地域スポーツクラブへの参加について、郵送分（36.2%）、施設利用者（46.5%）とも「活動に参加したい」がもっとも多くなっている。

4 スポーツボランティアについて

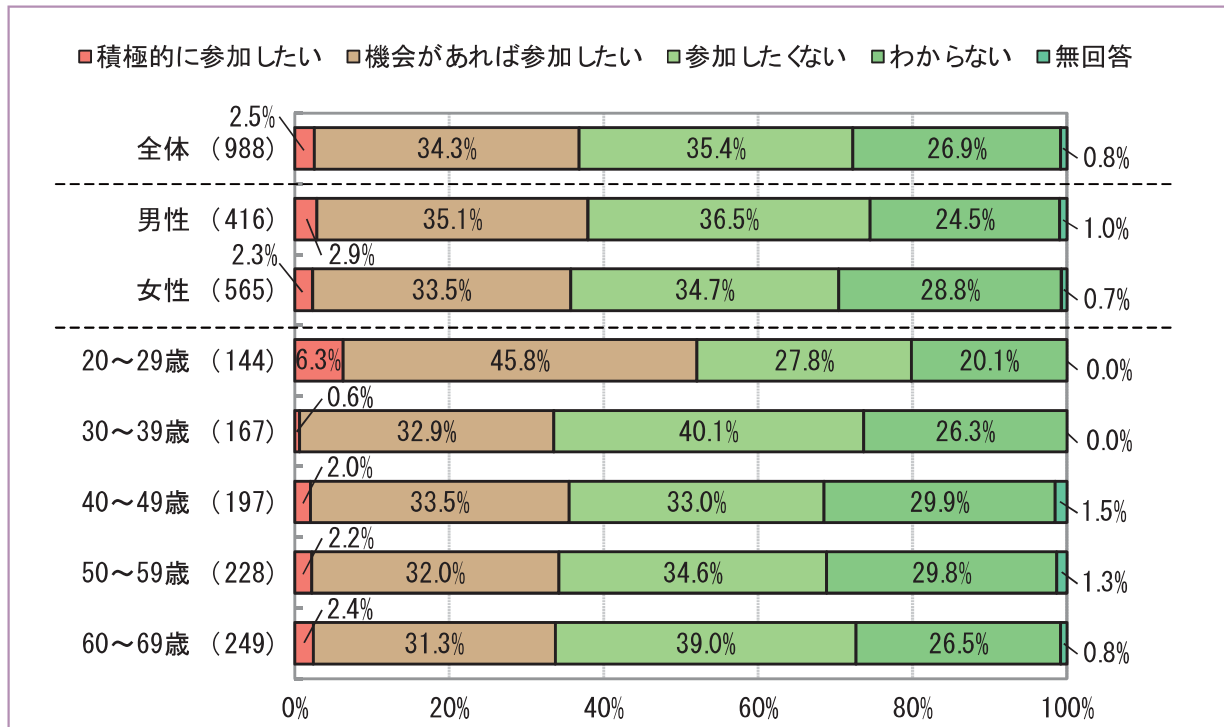
1) スポーツボランティアへの参加意向

問 26 スポーツにボランティアとして参加したいと思いますか。(○は1つ)



スポーツボランティアへの参加意向について、郵送分では「参加したくない」が35.4%と最も多く、施設利用者では「機会があれば参加したい」が39.1%と最も多くなっている。また、「積極的に参加したい」も郵送分、施設利用者とも1割未満となっており、参加したい人も低い割合となっている。

(郵送分内訳)



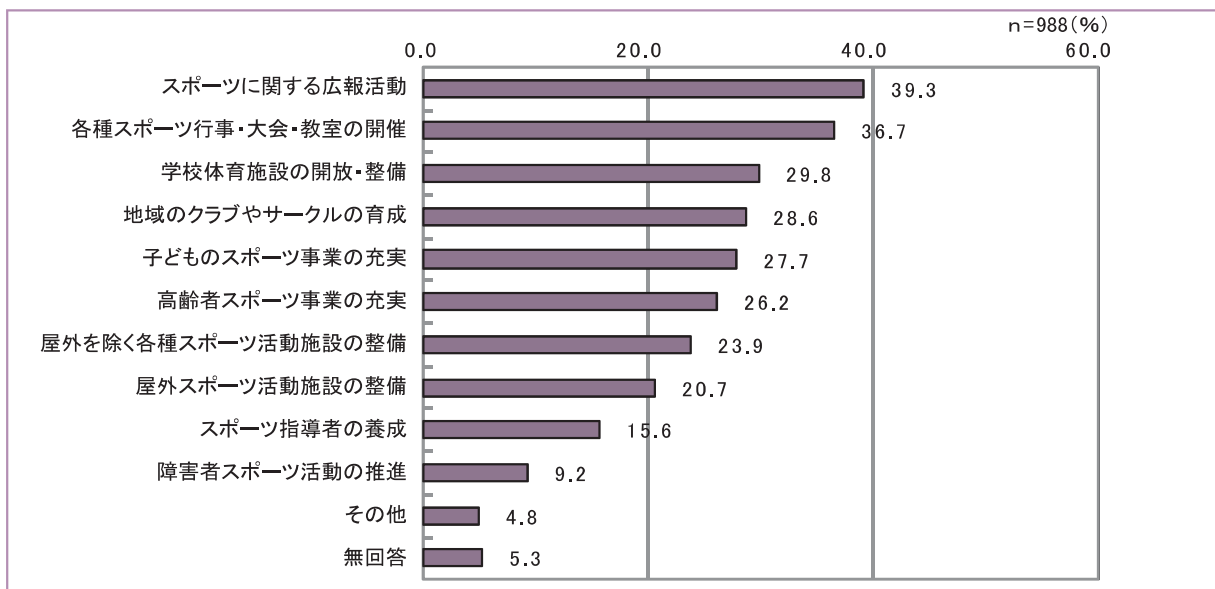
郵送分について性別及び年齢別でみると、ほぼ傾向は同様だが、20～29歳では「機会があれば参加したい」が他と比べて10.0ポイント以上高く、「積極的に参加したい」も最も高くなっており、何らかの形で参加したいと考えている結果となっている。一方、30～39歳では「参加したくない」との回答が他の年代と比べると高い。

5 豊島区スポーツ振興施策について

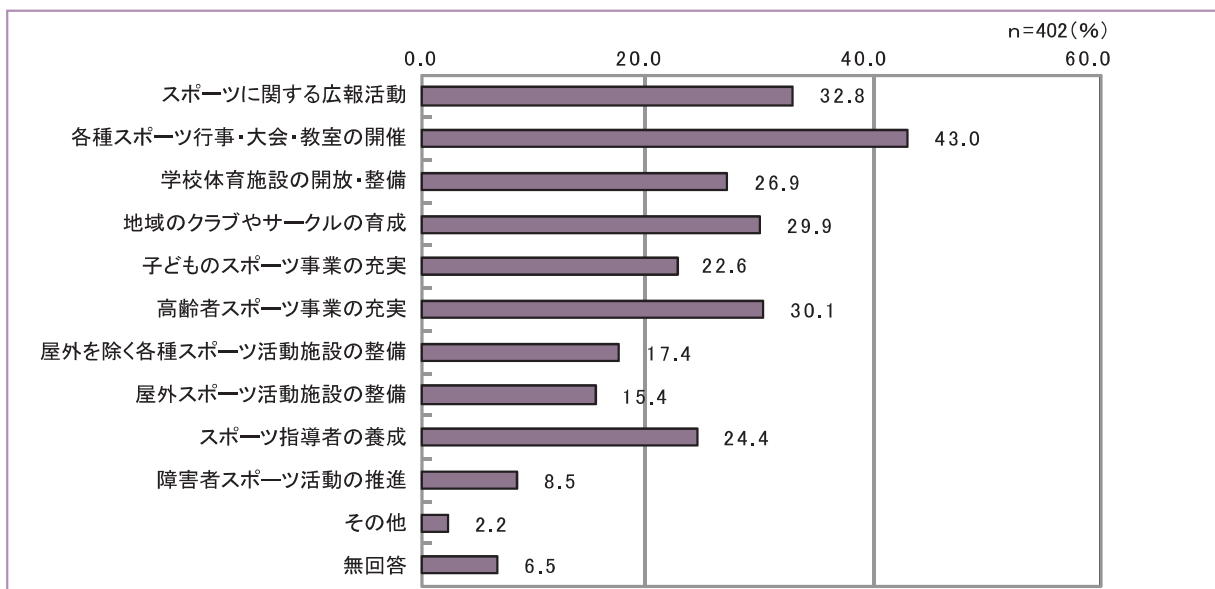
1) 運動・スポーツ振興に必要なこと

問 2 7 豊島区の運動やスポーツの振興を図るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

(郵送分内訳)



(施設分内訳)



運動・スポーツ振興に必要なことについて、郵送分では「スポーツに関する広報活動」が39.3%ともっとも高く、施設利用者より6.5ポイント高くなっている。施設利用者では「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が43.0%ともっとも高く、郵送分より6.3ポイント高くなっている。郵送分、施設分とも屋外・屋内のスポーツ活動施設の整備はそれほど高くない結果となっている。（「屋外を除く各種スポーツ活動施設の整備」（郵送分23.9%、施設利用者分17.4%）、「屋外スポーツ活動施設の整備」（郵送分20.7%、施設利用者分15.4%））

2 豊島区スポーツ推進計画策定委員会委員名簿

【敬称略】

	区分	所属・肩書き等	名 前
1	経学 験識 者	立教大学教授	松尾 哲矢
2		ミュンヘン五輪男子バレーボール金メダリスト	西本 哲雄
3	関 係 団 体	豊島区体育協会会長	副島 健
4		豊島区体育協会	佐藤 成世
5		豊島区体育協会	坂下 智里
6		豊島区スポーツ推進委員協議会会長	寺門 孝史
7		東京都車椅子バスケットボール連盟会長	玉川 敏彦
8		福祉レクリエーションワーカー	小倉 あけみ
9		青少年育成委員	田辺 貞子
10	区 民 公 募		秋葉 静子
11			木津 美佳
12	区 職 員	文化商工部長	栗原 章
13		政策経営部企画課長	佐藤 和彦
14		保健福祉部高齢者福祉課長	直江 太
15		保健福祉部地域包括ケア推進担当課長	能登 絹子 (H27. 4. 1から)
16		保健福祉部障害福祉課長	森 真理子
17		保健福祉部健康担当部長	佐野 功 (H27. 3. 31まで)
			坪内 栄一 (H27. 4. 1から)
18		教育部指導課長	清野 正

豊島区スポーツ推進計画策定委員会設置要綱

平成26年3月25日
文化商工部長決定

(設置)

第1条 スポーツ基本法第10条の規定に基づく豊島区のスポーツ推進計画（以下「計画」という。）を策定するため、豊島区スポーツ推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(検討事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) その他、区長が必要と認めること。

(構成)

第3条 委員会は、次に掲げる者のうちから区長が委嘱又は任命する委員をもって構成する。

- | | |
|----------------------------------|------|
| (1) 学識経験者 | 2名以内 |
| (2) スポーツ・レクリエーション団体及び関係団体等が推薦する者 | 7名以内 |
| (3) 公募による区民 | 3名以内 |
| (4) 豊島区職員 | 6名程度 |

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から第2条に定める計画の策定作業完了の日までとする。

(組織等)

第5条 委員会に、会長及び副会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選により選任する。
- 3 副会長は、会長が指名する。
- 4 会長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、会長が招集する。

(意見の聴取)

第7条 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、又は他の方法により、その意見を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、文化商工部学習・スポーツ課が処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附則

1 この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

4 豊島区スポーツ推進計画策定委員会審議経過

	開催日	審議項目
第1回	平成26年7月30日	1 委員委嘱 2 委員自己紹介 3 会長、副会長選出 4 「豊島区スポーツ振興計画」・ 「スポーツに関する意識調査」概要説明 5 豊島区スポーツ推進計画の位置づけについて
第2回	平成26年9月26日	1 豊島区スポーツ推進計画の構成について 2 スポーツの推進に向けた課題について 3 豊島区スポーツ推進計画におけるスポーツの 定義について 4 豊島区スポーツ推進計画の基本方針について
第3回	平成26年11月7日	1 豊島区スポーツ推進計画の構成について 2 施策1（案）ライフステージに応じたスポーツ 活動の推進について 3 施策2（案）だれもが取り組める身体活動の推進について
第4回	平成27年1月29日	1 「第4章 スポーツ推進策の事業展開」の施策体系の 修正について 2 施策2（案）スポーツを推進するための人材と 組織の充実について 3 施策3（案）スポーツをするための環境の充実について 4 施策4（案）国際交流・観光・都市づくり政策等との 連動について 5 施策1（案）前回からの修正について
第5回	平成27年3月17日	1 豊島区スポーツ推進計画（たたき台）について
第6回	平成27年6月 5日	1 豊島区スポーツ推進計画（素案）について
第7回	平成27年9月17日	1 豊島区スポーツ推進計画（素案）について 2 パブリックコメントの実施結果の報告について 3 パブリックコメントの豊島区スポーツ推進計画（案） への反映について

